保育学科 介護福祉専攻＜平成29年度以前入学生対象＞シラバス一覧

領域		教育内容	授業科目	時間数	単位数	授業の方法	配当年次 1年 前期	配当年次 1年 後期	配当年次 2年 前期	配当年次 2年 後期	資格必修 レクリエーションインストラクター
基礎教育科目		必修科目	社会人基礎入門A（地域と大学・ASP）	30	1	演習	○				
			茶道文化Ⅱ	30	1	演習		○			
			茶道文化Ⅲ	30	1	演習			○		
			茶道文化Ⅳ	30	1	演習				○	
			社会人基礎入門B(茶道文化Ⅰ)	30	1	演習	○				
		選択科目	女性学	30	2	講義				○	
			英語	30	2	講義				○	
			コンピュータ演習	30	1	演習			○		
			文書資料講読	30	2	講義		○			
			福祉文化	30	1	演習			○		
			スポーツ科学	30	1	講義			○	○	
		計		330	14						
専門教育科目	人間と社会	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	30	2	講義		○			
		人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	30	2	講義				○	○
		社会の理解	社会の理論Ⅰ	16	1	講義		○			
			社会の理論Ⅱ	30	2	講義				○	
			社会の理論Ⅲ	16	1	講義			○		
	計			122	8						
	介護	介護の基本	介護の基本A	60	4	講義	○	○			
			介護の基本B	60	4	講義	○	○			○
			介護の基本C	60	4	講義			○	○	
		コミュニケーション技術	コミュニケーションA	30	1	演習	○				○
			コミュニケーションB	30	1	演習		○			○
		生活支援術	生活支援技術A	120	4	演習	○	○			○
			生活支援技術B	60	2	演習	○				
			生活支援技術C	60	2	演習			○	○	
			生活支援技術D	60	2	演習			○	○	○
		介護過程	介護過程Ⅰ	30	1	演習	○				
			介護過程Ⅱ	30	1	演習		○			
			介護過程Ⅲ	60	2	演習		○	○		○
			介護過程Ⅳ	30	1	演習			○	○	
		介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	60	2	演習	○	○			
			介護総合演習Ⅱ	60	2	演習			○	○	
		介護実習	介護実習Ⅰ	232	5	実習	○	○			
			介護実習Ⅱ	240	5	実習		○	○		
	計			1282	43						
	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解Ⅰ	30	2	講義	○				
			発達と老化の理解Ⅱ	30	2	講義		○			
		認知症の理解	認知症の理解A	30	2	講義	○				
			認知症の理解B	30	2	講義		○			
		障害の理解	障害の理解Ⅰ	30	2	講義	○				
			障害の理解Ⅱ	30	2	講義		○			
		こころとからだのしくみ	こころとからだA	30	2	講義	○				
			こころとからだB	30	2	講義	○				
			こころとからだC	30	2	講義		○			
			こころとからだD	30	2	講義			○		
		医療的ケア	医療的ケアA	36	2	講義			○		
			医療的ケアB	36	2	講義			○		
			医療的ケアC	32	1	演習				○	
	計			404	25						
	合計			2138	90						

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

一　基礎教育科目については選択科目（3単位以上）を含めた8単位以上

二　専門教育科目については必修科目76単位以上

三　基礎教育科目8単位以上と専門教育科目76単位以上の合計84単位以上の修得を卒業の要件とする。

講義科目名称：社会人基礎入門Ａ（地域と大学・ＡＳＰ）　　授業コード：44101　44121

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　恵美子			

講義概要	講義や講話および地域の方々や仲間との交流等を通じて、長崎短期大学生及び地域の一員としての自覚を深め、社会人としての基本的な教養を培っていく。
授業計画	１　（４月６－８日）長崎短期大学での学び１ オリエンテーション ２　（４月１２日）長崎短期大学での学び２（安部恵美子学長） 建学の精神及び本授業開設の意義を理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直す。 予習：学生便覧の学生生活要綱を読んで理解しておくおこと。 ３　（４月１９日）長崎短期大学での学び３（教務委員長、学生委員長） 「短大での学びかた」および「短大での決まりや社会人としての基本的な生活習慣」について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ４　（４月２６日）長崎短期大学での学び４　（図書館司書　岩崎先生） 図書館・インターネットによる情報収集の方法を理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ５　（４月２８日）仲間作り 新入生歓迎イベントを通じてさまざまな分野の仲間と交流する。 ６　（５月１０日）長崎短期大学での学び５ 自分の主張をきちんと文章で表現する。（小論文テスト） ７　（５月１７日）大人になるために１（１８歳選挙権）　（橋之口裕太佐世保市議会議員） １８歳で選挙権を得るにあたって、選挙・議員活動等について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ★市議会日程によって変わる可能性有り ８　（５月２４日）Awesome Sasebo １（食物科、保育学科）（食物科教員、保育学科教員） 昨年度、食物科、保育学科で行った　Awesome Sasebo　の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ９　（５月３１日）Awesome Sasebo ２（国際コミュニケーション学科、茶道文化）（国際コミュニケーション学科教員、茶道文化教員） 昨年度、国際コミュニケーション学科、茶道文化で行った　Awesome Sasebo　の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １０　（６月７日）大人になるために２　金融の基礎知識（仮題） （仮）現代社会における金融の基本的な知識について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １１　（６月２２日）大人になるために２（メディア・リテラシー）（小浦先生） 情報社会において留意すべきこと及びインターネット・トラブルなどの対応について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １２　（６月２１日）Awesome Sasebo ３（防犯講話）　（相浦警察署生活安全課） 自分たちの生活および地域の防犯、交通安全について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １３　（６月２８日）Awesome Sasebo ４（佐世保市の観光の現状）　（佐世保市観光商工部観光課） 佐世保市の概要及び観光事業について理解する。

	学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １４　（７月５日）大人になるために４（保健講話）　（佐世保市保健師、長崎県障害福祉課） 生涯にわたる自分の身体の管理及びさまざまな依存症対策（アルコール・薬物・ギャンブル）について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １５　（７月１２日）大人になるために５（認知症サポーター養成講座）（佐世保市役所） 認知症に関する基礎的な知識を理解する。（厚労省認知症対策の国家戦略『新オレンジプラン』の施策の一つ） 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①長崎短期大学の建学の精神が理解できる。 ②長崎短期大学での学びについて理解し、２年間の学習及び生活の計画を立てることができる。 ③地元である長崎県及び佐世保市のことを学び、地域の一員としての自覚を深めることができる。 ④社会人への準備段階としての知識を学び、大人になるための自覚を深めることができる。 ⑤さまざまな分野の仲間と交流し、協調性、コミュニケーション能力、課題解決力を身につけることができる。 授業態度及び授業への意欲（40%）およびレポート等（60%）で総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：なし（必要に応じて担当教員が補助教材を準備する。） 参考書：適宜指示する。
履修条件	
履修上の注意	講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。 毎回の資料はファイルに綴じ込み、適宜復習すること。
オフィスアワー	各授業担当者の講義終了後。
備考・メッセージ	座席は決められた場所に着くこと。

講義科目名称：社会人基礎Ｂ（茶道文化Ｉ）　　授業コード：12151　13133　14131　21131　22121　42141　43151　53151　54111

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①茶室は神聖な場所であることを理解する。茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。 ②礼法（座礼、立礼）を覚える。和室での心得を学ぶ。（毎回反復練習をする。） ③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。 ④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。 ⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。
授業計画	1　日本の礼法①・本学における茶道文化について 【学習課題】茶室「不文軒」に来る時は白ソックス、筆記用具を持って来て下さい。 【禅語】「和敬清寂」 【ワンポイント】 ①教科書、学習帳、服紗ばさみ（名前を書く） ②服紗ばさみの中の説明を受ける（扇子、服紗、出し服紗、菓子切り、懐紙、服紗ばさみ） 【授業内容】 ①本学における茶道の考え方について（教科書P1～P2） ②和・敬・清・寂について（教科書P2～P6） ③茶道文化の意義（教科書P7～P12） ④準備当番、茶室での約束事 ⑤玄関での心得について、茶室の入り方を学び体験する （手荷物、靴の脱ぎ方、床の拝見について） ⑥座礼（双手礼・爪甲礼）・立礼（会釈・敬礼・最敬礼）　について学び体験する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 2　日本の礼法②・座礼、立礼について（お辞儀の仕方） 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：誤字訂正） 復習：四規、茶道文化の意義、服紗ばさみの中 【禅語】「看却下」 【ワンポイント】 ①正しい靴の脱ぎ方 ②身だしなみ ③和室で踏んではいけないもの ④席入り、退席の仕方 ⑤座礼・立礼について 【授業内容】 ①風炉薄茶点前（見本・説明） ②服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55） ③班に分かれて体験する ④服紗の付け方(帯の替わりにベルト使用）・捌き方 ⑤挨拶の仕方・礼法（座礼・立礼）・歩き方（半畳3歩） ⑥靴の脱ぎ方・席入り・退席の仕方 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　風炉薄茶点前①・道具の説明 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：慣用句）　　復習：礼法、和室で踏んではいけないもの 【禅語】「洗心」 【ワンポイント】 ①雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方 ②茶道具の説明（教科書P37～P50） 【授業内容】 ①茶道具の準備と後片付けについて学ぶ ②仕込み茶碗の仕方を学び体験する（教科書P60-P61） ③服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P53～P57） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

4　風炉薄茶点前②・茶巾の絞り方、茶巾のさばき方、仕込み茶碗の仕方、道具の清め方を体験する
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：適切なことば）
復習：茶道具と準備と片付けについて
【禅語】「大道無門」
【ワンポイント】
①利休七則について　（教科書P24-P25）
②敬語について　（尊敬語、謙譲語、丁寧語）
③研究室への入り方を学び体験する
【授業内容】
①服紗の付け方・捌き方の復習をする（教科書P53-P55）
②服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P56-P57）
③茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の仕方を学ぶ（教科書P59-P60）
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準儀する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する

5　風炉薄茶点前③・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：敬語）　復習：利休七則について
【禅語】「喫茶去」
【ワンポイント】
①箸の使い方について
②柄杓の持ち方、使い方を学ぶ
【授業内容】
①お菓子の取り方、食べ方を学び体験する
②柄杓の扱い方、湯の入れ方、茶筅の扱い方、お茶の点て方、飲み方を体験する
③服紗さばき・棗の清め方・茶杓の清め方の復習をする
④道具の片付け
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

6　風炉薄茶点前④・水指の置き合わせから洒を持って入るまで
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：四字熟語）　復習：道具の準備片付けについて
【禅語】「清風匝地」
【ワンポイント】
①上着の扱い
②訪問のマナー
③水指の置き合わせから釜の蓋を清めるまで（教科書P70-P72）
【授業内容】
①茶道具の持ち方（水指・茶碗・棗・洒）
②道具の置き合わせ、清め方、柄杓の扱い方
③道具の片付け
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

7　風炉薄茶点前⑤・茶筅通し・茶碗の拭き方まで
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：対義語）　復習：茶道具の持ち方、置き合わせについて
【禅語】「歩々是道場」
【ワンポイント】
①衣替えについて
②茶筅通し・茶碗の拭き方まで（P73～P74）
【授業内容】
①道具の置き合わせ、茶筅通しまでの練習
②茶巾の扱い方　・茶碗の拭き方まで
③道具の片付け
【社会人基礎力】

①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

8　風炉薄茶点前⑥・抹茶の入れ方　・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方　・茶の点て方
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：誤字訂正２）
復習：茶筅通し・茶碗の拭き方まで（P73～P74）
【禅語】「日々是好日」
【ワンポイント】
①「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）（教科書P15-P17）
②抹茶の入れ方、水指の蓋の扱い方、湯の入れ方、茶の点て方　（P74-P75）
【授業内容】
①お茶を点てるまでを体験する
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9　風炉薄茶点前⑦・客点前　・茶碗の取り込み方
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：対義語２）
復習：「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）
【禅語】「且座喫茶」
【ワンポイント】
①「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）（教科書P20-P21）
②客点前　・茶碗の取り込み方（P76）
【授業内容】
①薄茶前半復習
②道具の片付け
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力）
：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容等）を伝える
③実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

10　風炉薄茶点前⑧・薄茶点前前半練習
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方）
復習：「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）
【禅語】「思邪無」
【ワンポイント】
①「佗び茶」（村田珠光・武野紹？・千利休）教科書P23-P25）
【授業内容】
①薄茶前半点前練習
②道具の片付け
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

11　風炉薄茶点前⑨・薄茶点前前半（内検）
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方２）　復習　：薄茶前半点前練習自主練習
【禅語】「明珠在掌」
【ワンポイント】
①「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き）
②服装・身だしなみチェックシート記入（ドリルなし）
【授業内容】
①風炉薄茶前半点前（内検）
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12　風炉薄茶点前⑩・薄茶点前後半の見本
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方３）
復習：「佗び茶」村田珠光・武野紹？・千利休
【禅語】「処々全真」
【ワンポイント】
①「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）
【授業内容】
①風炉薄茶点前後半の見本・説明
②風炉薄茶後半点前練習
③道具の片付け
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13　風炉薄茶点前⑪・薄茶点前練習
【学習課題】予習：点前の自主練習　　復習：「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）
【禅語】「？啄同時」
【ワンポイント】
①実技試験のチェックポイント
【授業内容】
①薄茶点前練習
②道具の片付け
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

14　薄茶点前確認（実技試験）
【学習課題】予習：点前の自主練習　　復習：今までの復習
【禅語】「在眼前」
【ワンポイント】
①実技試験について全体説明
【授業内容】
①薄茶点前前半確認（実技試験）
実技試験を受けたら、客点前をする。　終わった順に速やかに退席する。
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

15　平戸について学ぶ。鎮信流についてまとめる
【学習課題】予習：平戸について教科書を読む（P29-P33）　復習：学習帳のまとめ
【禅語】「一期一会」
【ワンポイント】
①平戸について学ぶ（教科書P29～P33）　DVD：平戸の映像
【授業内容】
①鎮信流についてまとめる
②自己評価
③アンケート記入
④学習帳回収
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える

	⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く
授業形態	講義と演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①茶道文化で身に付けたマナーや礼法を、茶室以外の生活の中でも実践するようになる。（アクション）：働きかけ力 ②日本の礼儀作法を学び相手を思いやる行動ができるようになる。（チームワーク）：規律性 ③日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持つようになる。（シンキング）：課題発見力 ④箸の使い方や掃除の仕方を知り、実践できるようになる。（アクション）：主体性 ⑤茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できるようになる。（チームワーク）：状況把握 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか　15% 授業ごとの理解度を学習帳で確認する：教科書や学習帳で予習・復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているか　10% 毎回のドリルや最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか、日常の生活に役立てているか　15% 薄茶点前の実技の評価の観点は、正確な薄茶点前が出来るか：薄茶点前を正確にできるようになったか　60%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 ＴＰＯを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：茶道文化Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①風炉薄茶点前を一人で出来る。 ②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。 ③大寄せの茶会の心得を学ぶことができる。茶会の客の作法を学ぶことができる。季節と客組みを学ぶことができる。 ④上座、下座を学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。和室での立ち居振る舞いを身に付けることができる。 ⑤前年の茶道大会の映像を見て学ぶ。色々な役割を知ることができる。自分の役割の練習を行い茶道大会に参加する。
授業計画	1　風炉薄茶点前 【禅語】「清風万里秋」 【ワンポイント】 ①「煎茶の入れ方」 ②薄茶点前のポイント確認 ③茶会の流れの映像を見る。（DVD） 【授業内容】 ①煎茶の入れ方を学び体験する ②礼法・服紗捌き・道具の清め方・仕込み茶碗など復習する ③道具の片付け 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する 2　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「桂花露香」 【ワンポイント】「着物の種類」 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る① ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 3　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「行雲流水」 【ワンポイント】「上座と下座」① 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る② ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 4　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「別無工夫」 【ワンポイント】「上座と下座」② 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る③ ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う

【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

5　風炉薄茶点前
【禅語】「平常心是道」
【ワンポイント】「茶道具の扱い方」
【授業内容】
①薄茶点前のポイント確認
②風炉薄茶点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

6　風炉薄茶点前
【禅語】「耕不尽」
【ワンポイント】①「旧暦について学ぶ」（1月～6月）
②「四季と二十四節気（春から夏）」
【授業内容】
①立礼見本点前
②立礼点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

7　風炉薄茶点前・立礼点前練習
【禅語】「放下着」
【ワンポイント】①「旧暦について学ぶ」（7月～12月）
②「四季と二十四節気（秋から冬）」
【授業内容】
①風炉薄茶点前
②立礼点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）
：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる

8　茶道大会パート別練習
【禅語】「泥多仏大」
【ワンポイント】「出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方」
【授業内容】
①茶道大会の濃茶水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ
（3パートを20分ずつローテーション）
②客点前：出し服紗の使い方・濃茶の飲み方・主菓子の頂き方
③水屋：濃茶を練る
④接待：縁高や濃茶を客へ出す
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9　茶道大会パート別練習
【禅語】「無功徳」
【ワンポイント】「和食の基本」
【授業内容】
①茶道大会の立礼水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ

（3パートを20分ずつローテーション）
②客点前：薄茶の飲み方・干菓子の頂き方
③水屋：薄茶を点てる
④接待：懐紙にお菓子と薄茶を客へ出す
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

10　茶道大会で使用する道具について学ぶ
【禅語】「徳不弧」
【ワンポイント】「会記について」
【授業内容】
①茶道大会の会場確認
②茶道大会で使用する道具について学ぶ
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

11　茶道の歴史について合同講義
【授業内容】茶道の歴史について合同講義
第３章　茶の湯に関わった人々（教科書P23～P28）
第４章　鎮信流の茶（教科書P29～P33）
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
②規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12　風炉薄茶点前　・立礼点前練習
【禅語】「知足」
【ワンポイント】「縁起物について」
【授業内容】
①風炉薄茶点前②立礼点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13　初釜
【授業内容】初釜（点前拝見・濃茶飲み方、主菓子取り方、食べ方、裏から点て出し）
①初釜の道具組について説明を聞く
②各班に分かれて新年の抱負を述べ、学習帳
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
：事例や客観的なデータなどを用いて、具体的にわかりやすく伝える
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

14　・薄茶点前練習　・学習帳まとめ
【禅語】「一以貫之」
【ワンポイント】「正月飾りについて」
【授業内容】
①薄茶点前練習
②襖の開け方・閉め方
②学習帳まとめ

	【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する 15　松芳忌 【授業内容】松芳忌、礼拝練習 ①経歴紹介（映像にて） ②献茶 ③教職員・学生礼拝 ④講話 ⑤松芳忌・アンケート・自己評価 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①薄茶点前の割り稽古により、一人で薄茶点前ができるようになる。　（シンキング）：計画力 ②季節の移ろいを感じるようになる。禅語の意味を理解するようになる。（シンキング）：創造力 ③茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができるようになる。（チームワーク）：　規律性 ④茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を、学校や生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：発信力 ⑤茶道大会に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：状況把握 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。　15％ 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。　10％ 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常の生活に役立てているか。筆記試験　60％ 薄茶点前：薄茶点前を正確にできるようになったか。茶道大会への参加状況といった行動や感想　15％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著『茶道文化基礎編』 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ｉを履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 ＴＰＯを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：茶道文化Ⅲ　　授業コード：11112　23141　31134　32551　33551　34133　41122　44131　52551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。濃茶　点前の道具の使用方法を知る。 ②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。 ③亭主と客の動きを学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深めることができる。 ④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地、平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。 ⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。言葉遣いに気を付けるようになる。
授業計画	1　風炉濃茶点前 【禅語】「和敬清寂」 【ワンポイント】「礼儀作法・伝えたいTPO」 【授業内容】 ①茶道文化の意義　（教科書P7～P12）　再確認 ②出し服紗の畳み方確認 ③茶入の扱い方、紐の結び方 ④席入り、退席、礼法復習 ⑤茶入の紐結び 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 2　風炉濃茶点前 【禅語】「梨花一枝春」 【ワンポイント】「冠婚葬祭」 【授業内容】 ①濃茶見本点前 ②風炉濃茶点前前半① 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　風炉濃茶点前 【禅語】「花看半開」 【ワンポイント】「熨斗の知識」 【授業内容】 ①３種類の柄杓の扱い方（切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓） ②風炉濃茶点前前半② 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 4　風炉濃茶点前 【禅語】「薫風自南来」 【ワンポイント】「袱紗について」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前前半③ 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

5　風炉濃茶点前
【禅語】「悟無好悪」
【ワンポイント】「食事前に心がけること」
【授業内容】
①風炉濃茶点前後半①
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続ける
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

6　風炉濃茶点前
【禅語】「千里同風」
【ワンポイント】「器の扱い方」
【授業内容】
①風炉濃茶点前後半②
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

7　風炉濃茶点前
【禅語】「本来無一物」
【ワンポイント】「衣替えについて・嫌い箸について」
【授業内容】
①風炉濃茶点前総復習①
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

8　風炉濃茶点前
【禅語】「無事」
【ワンポイント】「雑節について」
【授業内容】風炉濃茶点前総復習②
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9　風炉濃茶点前
【禅語】「無心」
【ワンポイント】「身だしなみチェックシート」
【授業内容】風炉濃茶点前総復習③
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】

①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

10　風炉濃茶点前（内検）
【禅語】「思無邪」
【ワンポイント】「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き）
【授業内容】風炉濃茶点前（内検）
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

11　風炉濃茶点前
【禅語】「萬法一如」
【ワンポイント】実技試験のチェックポイント
【授業内容】風炉濃茶点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12　実技試験
【禅語】「平常心是道」
【授業内容】
①濃茶点前確認（実技試験）
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13　茶会の流れと花寄せ
【禅語】「在眼前」
【ワンポイント】「禁花について」
【授業内容】
①花寄せ
②ミニ茶会計画・練習
③学習帳
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力）
：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

14　合同講義
【授業内容】茶道の歴史について合同講義
第４章　鎮信流の茶（教科書P29～P33）
第５章　茶道における諸機能と茶道具について
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する

	③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 15　班別ミニ茶会 【禅語】「一期一会」 【ワンポイント】「夏を涼しく」 【授業内容】 ①班別ミニ茶会 ②道具の片付け・アンケート ③学習帳回収 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①濃茶席で使用する茶道具の名称や使用方法を学び、正しく使用できるようになる。（アクション）：発信力 ②地域の伝統文化である鎮信流の濃茶点前ができるようになる。（シンキング）：計画力 ③亭主と客の心得などを習得し、心遣いを生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：働きかけ力 ④茶道の歴史を学び、鎮信流について説明することができるようになる。（アクション）：実行力 ⑤茶道点前を通して、家庭や社会生活で役立つマナーを身に付けることを目標とする。（チームワーク）：規律性 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常の生活に役立てているか。15% 濃茶点前の実技の評価の観点は、正確な濃茶点前が出来るか、道具を大切に丁寧に扱うことが出来るか、客点前はできているか、など総合的に評価する。実技試験　60%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（ＴＰＯを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）：課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：茶道文化Ⅳ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。 ②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。 ③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。 ④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。 ⑤人や物を大切のする。おもてなしの心を学ぶ。授業最終時には、別棟の茶室（耳順亭）で茶会の流れを学ぶ。
授業計画	1　茶室・露地・炭点前 【禅語】「月白風清」 【ワンポイント】　「炭の力」 【授業内容】 ①炭点前ＤＶＤ ②炭の説明 ③炉濃茶置き合わせ確認 ④炉濃茶点前前半確認 【学習課題】　予習：教科書P63～P69　風炉炭点前 復習：風炉の濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 2　炉濃茶点前披露 【禅語】「水急不流月」 【ワンポイント】「中秋の名月」 【授業内容】 ①炉濃茶点前前半復習① 【学習課題】　復習：炉の濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　炉・風炉濃茶点前 【禅語】「釣月耕雲」 【ワンポイント】「和室の名称①」 【授業内容】 ①炉濃茶点前前半練習② 【学習課題】　復習：炉と風炉での置き合わせの違いを確認する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 4　炉・風炉濃茶点前 【禅語】「悠然見南山」 【ワンポイント】「和室の名称②」 【授業内容】 ①炉濃茶点前後半練習① 【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む

②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

5　炉・風炉濃茶点前
【禅語】「独座大雄峰」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（１月～３月）
【授業内容】
①炉濃茶点前後半練習②
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

6　立礼点前披露
【禅語】「直心是道場」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（４月～６月）
【授業内容】
①立礼見本点前
②立礼点前確認
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

7　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「教外別伝不立文字」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（７月～９月）
【授業内容】
①立礼、炉濃茶点前練習①
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）
：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる
⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

8　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「古今無二路」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（１０月～１２月）
【授業内容】
①立礼・炉濃茶点前練習②
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9　茶道大会に向けての練習
【禅語】「守拙全天真」
【ワンポイント】「縁起物（だるま）」

【授業内容】
①茶道大会　亭主・接待・水屋・客点前などパート別の仕事内容を学ぶ
（3パートを20分ずつローテーション）
・客点前：①出し服妙の使い方、②濃茶の飲み方、③主菓子の頂き方
・水屋：①濃茶を練る、②薄茶を点てる
・接待：①縁高や濃茶を客へ出す、②懐紙に干菓子と薄茶を出す
【社会人基礎力】
①課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

10　茶道大会に向けての練習
【禅語】「報恩謝徳」
【ワンポイント】「縁起物（鶴亀）」
【授業内容】
①茶道大会の道具説明
②茶道大会当日の役割の練習に参加する
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

11　茶道大会反省会・釜仕舞い
【禅語】「白珪尚可磨」
【ワンポイント】「正月飾りについて」
【授業内容】
①お別れの茶会の流れを冊子、映像で学ぶ
②釜仕舞い
③点て出し
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「門外有松風」
【ワンポイント】「正月飾りについて」「縁起物（松竹梅）」
【授業内容】
①薄茶、濃茶点前練習・学習帳まとめ
②立礼・炉濃茶点前練習
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13　初釜
【授業内容】軸「高砂」「松に双鶴」
①初釜（濃茶点前）
②点前拝見・主菓子の取り方・食べ方・濃茶の飲み方
③初釜の道具組について説明を聞く
④各班に分かれて新年の抱負を語る
【社会人基礎力】
①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
②発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）

	：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 14　松芳忌 【ワンポイント】「愛別離苦」 【授業内容】 ①松芳忌、礼拝練習 ②経歴紹介（映像にて） ③献茶 ④教職員・学生礼拝 ⑤講話 ⑥自己評価・アンケート・学習帳 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 15　卒業記念茶会　（別れの茶会） 【禅語】「一華開五葉」 【授業内容】お別れの茶会（耳順亭にて） ①茶会の流れ（寄り付き→外待合→蹲踞→躙り口） ②茶席の客体験（主菓子・抹茶） ③点前練習・水屋で点て出し 【学習課題】　予習：「お別れの茶会」の冊子に目を通してくる 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する ⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①点前の練習を重ね、薄茶点前、濃茶点前がスムーズにできるようになる。炭点前を学ぶ。 （アクション）：主体性 ②季節に応じた茶室・茶道具のあしらいに気付くことができるようになる。（シンキング）：課題発見力 ③茶道文化の授業を受けることにより、和室で自然な立ち居振る舞いができるようになる。 （チームワーク）：柔軟性 ④茶道大会の茶席運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：規律性 ⑤茶道を通して身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できるようになる。 （チームワーク）：傾聴力 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、茶道大会の企画運営への携わり方。15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。筆記試験　60% 濃茶点前：濃茶点前を正確にできるようになったか。身に付けたマナーや作法を日常生活で生かしているかといった行動や感想　15%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（ＴＰＯを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め、授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力

	④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：女性学　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
川原　ゆかり			

講義概要	①女性学とは何かについて学ぶ。歴史的・文化的・社会的・法的変遷の中の女性の生き方について学ぶ。女性とエンパワーメントについて見識を深める。 ②フェミニズムの理論について知る。ジェンダー問題について学ぶ。女性の二極化について認識を深める。 ③女性と家庭問題について考察する。結婚について考える。女性と子育てや働くことについて学習する。 ④母親と児童虐待について考える。ＤＶについての見識を深める。母子世帯の抱える問題について学習する。 ⑤性同一性障害などセクシャリティの多様性について学び、性の商品化について考える。
授業計画	１　オリエンテーション・自分史レポート・女性学概論 「女性と自分史」についてのレポート及びアンケート調査 学習課題　復習： 予習： ２　結婚について 結婚の定義 学習課題　復習： 予習： ３　セクシャリティの多様性 セクシャルティとセクシュアル、マイノリティ 身体の多様性 学習課題　復習： 予習： ４　セクシャリティの多様性 性同一性障害・同性愛について 学習課題　復習： 予習： ５　女性と労働 日本型雇用の中の女性の職業と働くこと 学習課題　復習： 予習： ６　ジェンダーについて 性と生殖と生～世界の出産・プルミエール～ 学習課題　復習： 予習： ７　女性・母親の子育て 子育てに対する意識・子育ての変化 学習課題　復習： 予習： ８　困難を抱える女性と社会福祉 ＤＶに見る女性の意識と生き方について 学習課題　復習： 予習： ９　困難を抱える女性と社会福祉 ＤＶ法について学習する 学習課題　復習： 予習： １０　虐待を受けた子ども 人権侵害としての性的虐待を受けた女性の生き方 学習課題　復習： 予習： １１　生き方の困難を抱える母親 ネグレストの事例に見る女性・母親の生き方を考える 学習課題　復習： 予習： １２　生き方の困難を抱える母親 事例に見る地域社会・保育者の有り様について考える 学習課題　復習： 予習： １３　女性と援助交際・犯罪 援助交際に見る女性の生き方を考える 学習課題　復習： 予習： １４　女性と高齢者問題 少子高齢者社会における女性の生き方 学習課題　復習： 予習：

	１５　　女性行政の歴史と課題について知る 女性としての生き方を考える総合学習 学習課題　復習： 予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①女性学とは何か？について学び、フェミニズムの視点を持つことができる。 ②ジェンダー平等をめぐる歴史と理論について学び、ジェンダーについて理解することができる。 ③女性史と結婚・家庭問題・子育て・労働について見識を深め、女性としての生き方について学ぶことができる。 ④困難を抱える女性と社会福祉（母子世帯の現状・暴力と女性～ＤＶ～）について学び、諸々の支援制度について学ぶことができる。 ⑤セクシャリティの多様性（性同一性障害・同性愛）・売買春について学び、女性の性とその生き方について再認識できるようになる。 評価は、授業内レポート、授業への取り組み状況、筆記試験を総合しておこなう。 授業内レポート（２０％）、筆記試験（８０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『女性学入門』　杉本貴代栄　編著　　ミネルヴァ書房　２，５００円 参考書：『少子化時代のジェンダーと母親意識』　　目黒依子・矢澤澄子　編　　新曜社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後及び、昼休み、授業外に研究室に気軽に来てください。
備考・メッセージ	テーマ毎に実話に基づくＤＶＤや担え当教員の臨床例を通して、具体的に女性の生き方を考え、女性としてのアイデンティティを確立し、保育者の自立的な生き方を追求する。毎回、授業集中度及び理解度のアンケート調査を行う。

講義科目名称：英語　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
園田　靖			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：コンピュータ演習　　授業コード：53141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	選択
担当教員			
久田　裕己			

講義概要	①表計算ソフト（Excel）による関数やグラフ作成などの操作方法を学習する。 ②表計算ソフト（Excel）を使い、介護現場におけるさまざまな資料の作成方法を学習する。 ③インターネットを使用する上で必要な社会ルールやセキュリティ対策、著作権について理解し、ホームページ閲覧により必要な情報収集や検索方法などを身につける。 ④プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使い、プレゼンテーションの仕方および注意点等を学習する。
授業計画	１　表計算ソフト（１） Excelの基本操作（起動・終了、画面構成、セルの範囲選択） データ入力（セルへの入力・訂正・オートフィル機能） 学習課題　復習：テキストを見なおし、セルの範囲選択やデータ入力の基礎を理解する ２　表計算ソフト（２） 計算式（足し算・引き算・掛け算・割り算） セルの書式設定（フォント・配置・表示形式・罫線） 学習課題　復習：テキストにある計算や関数の練習課題を行う ３　表計算ソフト（３） 関数（合計・平均・最大・最小） 学習課題　復習：比率の考え方を再度理解し、テキストにある計算や関数の練習課題を行う ４　表計算ソフト（４） 比率の計算（比率・達成率・絶対参照・前年比） 学習課題　復習：テキストにある関数の練習課題を行う ５　表計算ソフト（５） 関数（順位：RANK、条件の判定：IF） 学習課題　復習：テキストにある関数の練習課題を行う ６　表計算ソフト（６） 棒グラフの作成（グラフの要素・タイトルの設定・グラフの編集） グラフの演習（折れ線グラフ、円グラフ） 学習課題　復習：テキストにあるグラフの練習課題を行う ７　表計算ソフト（７） データベース操作（並べ替え・データの抽出） データの自動集計 学習課題　復習：テキストにあるデータベースの練習課題を行う ８　表計算ソフト（８） 総復習・課題作成（介護計画書・スケジュール表） 学習課題　復習：レイアウトを整えた課題を完成させる ９　情報モラル（１） インターネット社会のルール・マナー、著作権の保護、情報検索方法 学習課題　復習：インターネットを活用する際に危険な行為を再度認識し、ネット活用を行う １０　情報モラル（２） 個人情報ファイルの保護（パスワード設定・暗号化） 課題問題 学習課題　復習：個人情報保護を含むファイルに関し、パスワードの設定を行う １１　プレゼンテーションソフト（１） PowerPointの基本操作（起動・終了、画面構成、データ保存） スライドのデザイン設定（表枠・図・グラフの挿入） 学習課題　復習：テキストを見直し、例題のスライドを完成させる １２　プレゼンテーションソフト（２） スライドショーの実行（画面切替効果・アニメーションの設定） スライドの作成（図・グラフの挿入）、Excelとの連動 学習課題　復習：テキストを見直し、アニメーションを充実させる １３　プレゼンテーションソフト（３） 課題作成（介護実習の報告スライド） 学習課題　復習：スライド作成に必要な素材や情報を収集する １４　プレゼンテーションソフト（４）

	１５　課題作成（介護実習の報告スライド） 学習課題　復習：発表するための準備を完了させる プレゼンテーションソフト（５） 最終課題発表（プレゼンテーションと発表、振り返り） 学習課題　復習：効果的な手法でのプレゼンテーション発表の振り返りを行い、改善点を考える
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①Excelを使い、データ入力や関数を使った表形式のシートを作成し、印刷ができる。 ②Excelを使い、住所録やスケジュールなど、介護現場に必要なシートの作成ができる。 ③インターネットを活用した情報収集や、セキュリティ知識、情報モラルについての知識を習得している。 ④PowerPointを活用し、介護実習の成果発表資料の作成と発表ができる。 積み上げ式の授業内容となるため、毎回提出する課題作成を重視し、プレゼンテーションについては実演発表を行い、学習の取り組みや経過を加味し評価を行なう。 表計算（Excel）の課題：50% 情報モラルの課題：10% プレゼンテーション（PowerPoint）の課題・発表：40%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータ演習（テキスト代：1,000円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：文書資料講読　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
小嶋　栄子			

講義概要	介護の現場では円滑な対人関係の構築が重要であり、そのためのツールとして「日本語の読み書き」の能力は必須である。そこで、学生の興味ある話題や課題に関する文書を読みながらその内容をつかんで要約したり、自分の考えを文章にまとめたりするという実践的な活動を通じて、日本語の総合力を高めていく。
授業計画	１　授業に関するオリエンテーション 授業の進め方の説明と日本語プレースメントテスト① 学習課題　復習：プレースメントテストでできなかった部分の見直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 ２　エッセイなどの短文の読み方１ 語句の意味やその適切な使い方を学ぶ。ドリル１ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル１でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 ３　エッセイなどの短文の読み方２ 文章の内容を理解し著者の考えを把握する。ドリル２ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル２でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 ４　エッセイなどの短文の読み方３ 把握した著者の考えを要約して文章にする（１）。ドリル３ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル３でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 ５　エッセイなどの短文の読み方４ 把握した著者の考えを要約して文章にする（２）。ドリル４ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル４でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 ６　エッセイなどの短文の読み方５ 学んだ表現法をもとにエッセイ風の文章を書いてみる。ドリル５ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル５でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 ７　説明文などの短文の読み方１ 語句の意味やその適切な使い方を学ぶ。ドリル６ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル６でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 ８　説明文などの短文の読み方２ 文章の内容を理解し著者の主張を把握する。ドリル７ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル７でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 ９　説明文などの短文の読み方３ 把握した著者の主張を要約して文章にする（１）。ドリル８ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル８でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 １０　説明文などの短文の読み方４ 把握した著者の主張を要約して文章にする（２）。ドリル９ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル９でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 １１　説明文などの短文の読み方５ 学んだ表現法をもとに自分の主張を述べる文章を書いてみる。ドリル１０ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル１０でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 １２　エッセイなどの長文の読み方１ 文章の内容を理解し著者の考えを把握する。ドリル１１ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル１１でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 １３　エッセイなどの長文の読み方２ 把握した著者の考えを要約して文章にする。ドリル１２

	学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル１２でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 １４　説明文などの長文の読み方１ 文章の内容を理解し著者の主張を把握する。ドリル１３ 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとドリル１３でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。 １５　説明文などの長文の読み方２ 把握した著者の主張を要約して文章にする。日本語プレースメントテスト② 学習課題　復習：配布プリントの読み直しとプレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：試験の準備
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①さまざまな文章の中で用いられている語句の適切な意味を理解する。 ②書かれている内容を理解し、著者の考えまたは主張を正しく把握する。 ③読解した内容を要約して、それを自分の言葉で表現（話す・書く）できる。 ④適切な表現法を学び、それを用いて自分の考えや主張を作文できる。 ⑤日本語全般に関する一般常識を身につける。 平素の学習意欲を重視し、その学習状況及び毎回行う日本語全般に関するドリルの結果、並びに授業回以後の評価期間に提出するレポートと試験により行う。 ドリル２０％、レポート３０％、試験５０％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：使用しない。毎回授業でプリントを配る。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週火曜日16:30-18:00
備考・メッセージ	

講義科目名称：福祉文化　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	選択
担当教員			
藤島　法仁			

講義概要	①福祉文化とは何かを学ぶ。 ②福祉文化は生活の様々な局面（芸術、宗教、教育、メディアなど）でどのように現れているのかを学ぶ。 ③地域と福祉文化の関係を学ぶ。 ④地域において福祉文化はどのように形成されるのか（ネットワーキング、福祉教育の展開など）を学ぶ。 ⑤施設における福祉文化について考える。
授業計画	1　福祉文化とは何か 学習課題　復習：福祉文化の定義を振り返っておくこと。 予習：配布資料（生活の中の福祉文化①宗教と福祉文化）を読んでおくこと。 2　生活の中の福祉文化　①宗教と福祉文化 学習課題　復習：宗教の中に福祉文化はどのように現れているのかを振り返っておくこと。 予習：配布資料（生活の中の福祉文化②教育と福祉文化）を読んでおくこと。 3　生活の中の福祉文化　②教育と福祉文化 学習課題　復習：教育の中に福祉文化はどのように現れているのかを振り返っておくこと。 予習：配布資料（生活の中の福祉文化③メディアと福祉文化）を読んでおくこと。 4　生活の中の福祉文化　③メディアと福祉文化 学習課題　復習：メディアの中に福祉文化はどのように現れているのかを振り返っておくこと。 予習：配布資料（生活の中の福祉文化④建築と福祉文化）を読んでおくこと。 5　生活の中の福祉文化　④建築と福祉文化 学習課題　復習：建築の中に福祉文化はどのように現れているのかを振り返っておくこと。 予習：配布資料（地域と福祉文化の関係①地域の再生と福祉文化）を読んでおくこと。 6　地域と福祉文化の関係　①地域の再生と福祉文化 学習課題　復習：地域の変化と福祉文化の関係について振り返っておくこと。 予習：配布資料（地域と福祉文化の関係①限界集落と福祉文化の課題）を読んでおくこと。 7　地域と福祉文化の関係　②限界集落の再生と福祉文化の課題 学習課題　復習：限界集落の再生と福祉文化の課題について振り返っておくこと。 予習：配布資料（福祉文化の形成①福祉教育・地域の教育活動）を読んでおくこと。 8　福祉文化の形成　①福祉教育・地域の教育活動 学習課題　復習：福祉文化の形成について福祉教育・地域の教育活動を振り返っておくこと。 予習：配布資料（福祉文化の形成②福祉教育・地域の教育活動）を読んでおくこと。 9　福祉文化の形成　②福祉教育・地域の教育活動 学習課題　復習：福祉文化の形成について福祉教育・地域の教育活動を振り返っておくこと。 予習：配布資料（福祉文化の形成③地域づくり・ネットワーキング活動）を読んでおくこと。 10　福祉文化の形成　③地域づくり・ネットワーキング活動 学習課題　復習：福祉文化の形成について地域づくり・ネットワーキング活動を振り返っておくこと。 予習：配布資料（福祉文化の形成④地域づくり・ネットワーキング活動）を読んでおくこと。 11　福祉文化の形成　④地域づくり・ネットワーキング活動 学習課題　復習：福祉文化の形成について地域づくり・ネットワーキング活動を振り返っておくこと。 予習：福祉新聞に目を通しておくこと。 12　施設における福祉文化　①福祉新聞を題材に読み解く 学習課題　復習：グループごとに施設における福祉文化をまとめる。 予習：福祉文化の定義を振り返っておくこと。 13　施設における福祉文化　②福祉新聞を題材に読み解く 学習課題　復習：グループごとに施設における福祉文化をまとめる。 予習：福祉文化の形成を振り返っておくこと。 14　施設における福祉文化　③福祉文化の形成 学習課題　復習：グループごとに施設における福祉文化をまとめる。 予習：福祉文化の形成を振り返っておくこと。 15　発表・まとめ 学習課題　復習：各グループの発表を振り返る。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①福祉文化の定義を説明できる。 ②生活において福祉文化はどのように現れているのかを説明できる。 ③地域の変化と福祉文化の関係を説明できる。 ④地域において福祉文化はどのように形成されるのかを説明できる。 ⑤施設における福祉文化をどのように考え、どのように形成されるのかを指摘できる。

	評価は授業態度10％、レポート20％、発表70％を総合して行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：適宜資料を配布。 参考書：『福祉文化論』一番ヶ瀬康子ほか編、有斐閣、『地域社会と福祉文化』日本福祉文化学会編、明石書店。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	

講義科目名称：スポーツ科学　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１	選択
担当教員			
中尾　健一郎			

講義概要	①レクリエーションの実践に必要な技術について理解する ②レクリエーションとスポーツとの関係について理解するる ③ニュースポーツの体験を通してレクレーションとしてのスポーツを理解する ④グループでレクリエーションを企画する ⑤企画したレクリエーションを発表し、相互に評価する
授業計画	１　レクリエーション指導者・援助者としての必要な技術について 福祉領域においてレクリエーションを実践するポイントについて学ぶ 学習課題　復習：配布資料を参考に福祉用域におけるレクリエーション実践のポイントをまとめる 予習：チャレンジザゲームについて調べる ２　目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供① チャレンジ・ザ・ゲーム（ロープジャンプ・キャッチングザスティック・バンプーダンス） 学習課題　復習：チャレンジザゲームの理念及び実践方法についてまとめる 予習：ネイチャーゲームの理念及び実践方法を調べる ３　目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供② ネイチャーゲームの実践 学習課題　復習：ネイチャーゲームの理念及び実践方法についてまとめる 予習：ペタングの歴史的背景やルールについて調べる ４　目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供③ ペタンクの実践 学習課題　復習：ペタンクの実践方法についてまとめる 予習：インディアカの歴史的背景とルールについて調べる ５　目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供④ インディアカの実践 学習課題　復習：インディアカの実践方法についてまとめる 予習：コアトレ、ストレッチの方法について調べる ６　対象者間の相互作用の活用方法 コアストレッチ＆トレーニングの実践 学習課題　復習：ストレッチ、コアトレを自宅で実践してみる 予習：スポンジボールテニスのルールについて調べる ７　対象に合わせたレクワークとアレンジ法① スポンジボールテニスの実践 学習課題　復習：スポンジボールテニスの実践方法についてまとめる 予習：ソフトバレーボールの歴史的背景とルールについて調べる ８　対象に合わせたレクワークとアレンジ法② ソフトバレーボールの実践 学習課題　復習：ソフトバレーボールの実践方法についてまとめる 予習：ティボールの歴史的背景やルールについて調べる ９　対象に合わせたレクワークとアレンジ法③ ティーボールの実践 学習課題　復習：ティーボールの実践方法についてまとめる 予習：アルティメットの歴史的背景とルールについて調べる １０　対象に合わせたレクワークとアレンジ法④ アルティメットの実践 学習課題　復習：アルティメットの実践方法についてまとめる 予習：フットサルの歴史的背景とルールについて調べる １１　対象に合わせたレクワークとアレンジ法⑤ フットサルの実践 学習課題　復習：フットサルの実践方法についてまとめる 予習：ボルダリングの歴史的背景と実践方法についてまとめる １２　対象に合わせたレクワークとアレンジ法⑥ ボルダリングの実践 学習課題　復習：ボルダリングの実践方法についてまとめる 予習：グループで行うレクリエーションプランを考える

	１３　　レクリエーションプログラムの企画 グループでのレクリエーションプログラムを作成する 学習課題　復習：計画したレクレーションプログラムについて役割を確認しておく 予習：レクリエーションプログラムの評価の視点について調べる １４　　レクレーションプログラムの実践① グループで企画したレクリエーションプログラムを発表する（前半グループ） 学習課題　復習：前半グループは発表内容を振り返り、後半グループは計画したレクレーションプログラムに ついて役割を確認しておく 予習：レクリエーションプログラムの評価の視点について調べる １５　　レクレーションプログラムの実践② グループで企画したレクリエーションプログラムを発表する 学習課題　復習：グループは発表内容を振り、改善点をまとめる １５
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①福祉領域においてレクリエーションのありかたについて説明できるようになる ②レクリエーション活動のポイントについて説明できるようになる ③ニュースポーツについて説明できるようになる ④レクリエーションプログラムの企画する際の留意点について説明できるようになる ⑤レクリエーション活動を評価するポイントについて説明できるようになる 授業に取り組む姿勢（２０％） レクリエーションプログラム発表の評価（３０％） 期末レポート（５０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：高齢者のためのかんたん・楽しいレクリエーション　生活介護研究所　ナツメ社
履修条件	
履修上の注意	実技の際は装飾品ははずし運動ができる服装を準備すること（場所は体育館）
オフィスアワー	毎回の授業前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	

講義科目名称：人間の尊厳と自立　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	講義
担当教員			
志賀　信夫			

講義概要	①福祉とは何か、人間の尊厳とは何かについて理解する。 ②自律と自立について、またさまざまな自立のあり方について理解する。 ③介護における人間理解、個別化について理解する。 ④介護における専門性について理解する。 ⑤介護における障害者、要介護者、介護家族の自立支援について理解する。
授業計画	１　人間の尊厳と自律・自立①福祉とは 福祉とは何か、社会福祉と幸福の本質について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと ２　人間の尊厳と自律・自立②人間の尊厳とは 人間の尊厳とは何か、個人の尊重や自己実現についての価値観を通して理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと ３　人間の尊厳と自律・自立③自律と自立 自律と自立の関係について、エリクソンの発達課題をヒントに理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと ４　人間の尊厳と自律・自立④人の自立と主体性 人の自立と主体性について、主要な考え方を理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと ５　人間の尊厳と自律・自立⑤さまざまな自立のあり方 障害者や高齢者の自立とは何かについて理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと ６　介護福祉と人間理解①人の幸福を支えるとは 人それぞれの幸福を福祉の専門職として支えることについて理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと ７　介護福祉と人間理解②介護福祉とは 介護福祉の本質について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと ８　介護福祉と人間理解③介護福祉実践に求められる人間理解 人間理解とは何か、その人らしく生きるとはどういうことか、障害や家族を通して理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第６章を読んでおくこと ９　介護福祉と人間理解④利用者を個別化することの大切さ 利用者を個別化して接する意味と大切さについて理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと １０　介護福祉と人間理解⑤利用者を理解し支える専門性 専門性の前提条件を考え、社会福祉や介護福祉士の専門性について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと １１　介護における尊厳の保持・自立支援①尊厳ある状態を支える介護 介護を受ける人の気持ちを理解し、要介護者の尊厳ある状態について考える 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと １２　介護における尊厳の保持・自立支援②介護における人権と尊厳 介護における人権と尊厳について、様々な角度から理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと

	１３　介護における尊厳の保持・自立支援③介護における自立支援～障害者の自立支援～ 介護における自立支援とは何か、障害者について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと １４　介護における尊厳の保持・自立支援④介護における自立支援～要介護者の自立支援～ 介護における自立支援とは何か、要介護者について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと １５　介護における尊厳の保持・自立支援⑤介護における自立支援～介護家族の自立支援～ 介護における自立支援とは何か、介護家族について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①人間の尊厳について説明できる。 ②人間の自律・自立について説明できる。 ③介護における人間理解について説明できる。 ④利用者を支える専門性について説明できる。 ⑤介護における自立支援について説明できる。 授業への意欲を評価し、達成目標に関する理解度については筆記試験で評価する。 筆記試験90%、授業への意欲10%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会編集『新・介護福祉士養成講座1　人間の理解　第3版』中央法規、2016年。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	評価は筆記試験の成績が大きいので、テキストの予習復習を欠かさないこと。

講義科目名称：人間関係とコミュニケーション　　授業コード：14142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	講義
担当教員			
志賀　信夫			

講義概要	①人間関係の機能とストレスについて理解する。 ②人間関係形成の基本的プロセスを踏まえ、援助を必要とする人々との人間関係の形成について理解する。 ③コミュニケーションとは何か、意義や特性について理解する。 ④様々なコミュニケーションの技法について理解する。 ⑤人間関係を育てるコミュニケーションについて考察し理解する。
授業計画	1　人間関係の機能① 自己形成の過程について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 2　人間関係の機能② 自我の発達について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 3　人間関係の機能③ 人間の欲求について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 4　人間関係のストレスとコーピング ストレスとその対処法について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 5　人間関係のプロセス 人間関係形成について基本プロセスと緊密化とは何か理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 6　援助を必要とする人々との人間関係の形成① 援助を受ける人の心理について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 7　援助を必要とする人々との人間関係の形成② 援助者としての人間関係について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 8　対人関係とコミュニケーション コミュニケーションの機能と特性について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第６章を読んでおくこと 9　コミュニケーションの様態① 話し言葉による言語コミュニケーションについて理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 10　コミュニケーションの様態② 読み書きによる言語コミュニケーションについて理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 11　コミュニケーションの様態③ 非言語コミュニケーションについて理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 12　コミュニケーションの様態④ コミュニケーションによる人間関係の変化について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと

	13　人間関係を育てるコミュニケーション① カウンセリング技法について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 14　人間関係を育てるコミュニケーション② 交流分析について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと 15　人間関係を育てるコミュニケーション③ アサーションについて理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①人間関係の機能を説明できる。 ②人間関係形成のプロセスを説明できる。 ③コミュニケーションの機能と特性及び様態について説明できる。 ④援助を必要とする人々との人間関係の形成について説明できる。 ⑤人間関係を育てるコミュニケーションの技法を説明できる。 授業への参加意欲を評価し、達成目標に関する理解度については筆記試験で評価する。 筆記試験90%、授業への意欲10%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：新・介護福祉士養成講座　〔編集〕介護福祉士養成講座編集員会　『人間の理解』第3版　中央法規
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	評価は筆記試験の成績が大きいので、テキストの予習復習を欠かさないこと。

講義科目名称：社会の理解Ⅰ　　授業コード：12141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	講義
担当教員			
藤島　法仁			

講義概要	個人を取り巻く社会環境は変化している。家族、集団、地域、制度は個人の生活とどのような関連をもっているのであろうか。それらの現状と変化、個人の生活との関連について基本的な理解を深める。
授業計画	1　家庭生活の基本機能 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：家族制度（夫婦家族制、直系家族制、複合家族制）について調べておくこと。 2　家族（家族制度と家族の機能） 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：家族観について調べておくこと。 3　家族（家族の変容、家族観の多様化） 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：地域の集団・組織について調べておくこと。 4　地域（都市化と地域の集団・組織） 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：アソシエーションとセルフヘルプグループの意味について調べておくこと。 5　アソシエーションとセルフヘルプグループ 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：ライフスタイルについて調べておくこと。 6　社会構造とライフスタイルの変化 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：地域福祉の意味について調べておくこと。 7　地域における生活支援 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：自助、互助、共助、公助の意味について調べておくこと。 8　今日的な支え合いのありようについて 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。
授業形態	講義を中心とするが、適宜、グループでの話し合いなどを行う。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①家族の機能、変容について理解を深める。 ②地域の変容とコミュニティについて理解を深める。 ③地域社会の集団・組織の機能について理解を深める。 ④社会構造の変化と、社会と生活の関連について理解を深める。 ⑤地域における生活支援について理解を深める。 授業態度20%、レポート10%、定期試験70%を総合して評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『新・介護福祉士養成講座　社会と制度の理解』中央法規。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	積極的に授業に参加してほしい。

講義科目名称：社会の理解Ⅱ　　授業コード：51142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	講義
担当教員			
藤島　法仁			

講義概要	社会保障制度、介護保険制度、障害者総合支援制度の創設された背景、目的、仕組み、専門職・組織の役割について基本的な理解を深める。
授業計画	1　社会保障制度の基本的な考え方 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：福祉六法について調べておくこと。 2　社会保障制度の発達（1） 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　社会保障構造改革についての部分を読んでおくこと。 3　社会保障制度の発達（2） 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：社会保険について調べておくこと。 4　社会保険の仕組み 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：社会扶助について調べておくこと。 5　社会扶助の仕組み 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　これからの社会保障制度についての部分を読んでおくこと。 6　現代社会における社会保障制度 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護保険制度の目的について調べておくこと。 7　介護保険制度の目的 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護保険制度の2012年の改正について調べておくこと。 8　介護保険制度の動向 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護保険の給付について調べておくこと。 9　介護保険の給付と認定 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：地域包括支援センターの業務について調べておくこと。 10　地域支援事業と地域包括支援センター 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護保険制度における市町村の役割について調べておくこと。 11　介護保険制度における組織、団体の機能と役割 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護支援専門員の役割について調べておくこと。 12　介護保険制度における専門職の役割 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：障害者総合支援法について調べておくこと。 13　障害者総合支援法の策定とその特徴 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：生涯福祉サービスの種類について調べておくこと。 14　障害福祉サービスの種類と利用 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：障害者自立支援制度における組織・団体の役割について調べておくこと。 15　障害者自立支援制度における組織・団体の役割 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。
授業形態	講義を中心とするが、適宜、グループでの話し合いなどを行う。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①社会保障制度が創設された背景と目的について理解を深める。 ②社会保障制度の仕組みについて理解を深める。 ③介護保険制度が創設された背景と目的について理解を深める。 ④介護保険制度の仕組み、専門職・組織の役割について理解を深める。 ⑤障害者支援制度の目的、仕組み、専門職・組織の役割について理解を深める。 授業態度20%、レポート10%、定期試験70%を総合して評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『最新介護福祉全書　第2巻　社会の理解』メヂカルフレンド社。

履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	積極的に授業に参加してほしい。

講義科目名称：社会の理解Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	講義
担当教員			
藤島　法仁			

講義概要	介護の実践に関連する職種（福祉、保健、医療）、保健・医療サービス、高齢者・障害者・児童の福祉施策、権利擁護、所得や医療負担の制度について理解を深める。
授業計画	1　介護福祉士の業務と関連職種 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：保健・医療の関係機関について調べておくこと。 2　保健・医療の関係機関 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：保健・医療のサービスについて調べておくこと。 3　保健・医療のサービス 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：高齢者の社会参加に関する施策について調べておくこと。 4　高齢者・障害者の福祉 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：個人情報保護法について調べておくこと。 5　個人情報保護に関する制度 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：成年後見制度について調べておくこと。 6　成年後見制度と虐待防止法 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：年金保険について調べておくこと。 7　生活保護と年金保険 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：医療保険について調べておくこと。 8　医療保険 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。
授業形態	講義を中心とするが、適宜、グループでの話し合いなどを行う。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①介護福祉士と関連をもつ福祉、保健、医療の職種と業務について理解を深める。 ②保健、医療サービスの内容と提供する機関について理解を深める。 ③高齢者、障害者、児童に関する施策について理解を深める。 ④権利擁護について理解を深める。 ⑤利用者の所得や医療負担の制度について理解を深める。 授業態度20%、レポート10%、定期試験70%を総合して評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『最新介護福祉全書　第2巻　社会の理解』メヂカルフレンド社。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	積極的に授業に参加してほしい。

講義科目名称：介護の基本Ａ　　授業コード：21041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	１年	４単位	必修
担当教員			
北村　光子			

講義概要	①介護の意義と役割及び専門性について介護の歴史や関連法規を通して理解する。 ②ノーマライゼーションやICFなどから介護を必要とする人を「生活する人」として受けとめることができる。 ③一人一人の利用者の意向や生き方、生活習慣等“その人らしさ（個別性）”を理解できる。 ④尊厳を守る介護、自立に向けた介護について理解を深め、介護の専門性を理解する。 ⑤利用者が安心して生きがいのある生活が過ごせるような生活環境を整え、危機管理や関係職種間の連携のあり方を理解する。
授業計画	1　介護とは 日本における介護の成り立ちを理解し介護の概念・定義を学ぶ。 学習課題　予習：テキストｐ2～22までを読む。 2　介護とは 介護の変換から介護問題の背景を探る。 学習課題　復習：テキストｐ2～13までを読む。 予習：介護の考え方について文献を検索する 3　介護とは 1、2回目の授業から今後の介護問題を推測する（演習1-1、1-2）。 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストｐ24～58まで読む。 ４　「生活支援」としての介護 介護の専門性を学ぶ。 学習課題　復習：自立・自律支援について考える。 予習：テキストｐ59～63まで読む。 5　「生活支援」としての介護 自分の「介護観」について学ぶ。 学習課題　復習：自分の介護観についてまとめる。 予習：介護観に関する文献収集 6　「生活支援」としての介護 自立に向けた介護や他者への共感的関わり（演習1-3、1-4） 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストｐ66～74まで読む 7　私たちの生活の理解 生活の意味、特性を理解する。 学習課題　復習：今までの自分の生活の振り返りをする。 予習：演習2-1、2-3をする。 8　私たちの生活理解 周囲の生活を考え学ぶ。 学習課題　復習：演習を通して地域の生活を考える。 予習：演習2-2をする。 9　私たちの生活理解 居住している地域の生活を考える（生活文化・福祉文化） 学習課題　復習：ノートを見直す 予習：地域の生活文化・福祉文化について調べる 10　私たちの生活理解 居住している地域の生活を考える（生活文化・福祉文化）…学外 学習課題　復習：地域の文化を調査した項目をまとめる 予習：佐世保市の地域文化・生活文化について文献収集 11　私たちの生活理解 居住している地域の生活を考える（生活文化・福祉文化）…学外 学習課題　復習：地域の文化を調査した項目をまとめる 予習：佐世保市の地域文化・生活文化について文献収集 12　私たちの生活理解 居住している地域の生活を考える（生活文化・福祉文化）…パワーポイントにて各グループ発表 学習課題　復習：他のグループの資料を見る。 予習：テキストｐ79～92を読む。 13　高齢者や障害をもった人たちの暮らしと介護 ＱＯＬの視点をもった介護 学習課題　復習：ノートを見直す 予習：演習2-4をする。 14　高齢者や障害をもった人の暮らしと介護 ＱＯＬの視点をもった介護…演習2-4、2-5 学習課題　復習：テキストｐ79～94まで読む 予習：自分らしさを考える 15　「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解 その人らしさを考える。 学習課題　復習：ノートを見直す。

	予習：演習2-6、2-7 16　「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解 個別支援の視点を学ぶ。 学習課題　復習：演習を通して個別支援の大切さを考える。 予習：テキストｐ111～119を読む。 17　生活障害の理解 生活障害の視点 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：演習2-8、2-9をする。 18　生活障害の理解 生活障害の視点…演習2-8、2-9 学習課題　復習：他のグループの発表を聴き新しい情報を記録する。 予習：テキストｐ121～126まで読む。 19　生活環境の重要性 利用者の生活環境 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストｐ126～135まで読む。 20　生活環境の重要性 利用者の居場所つくり 九文幼稚園（福祉のイメージアップ） 学習課題　復習：高齢者と子供の関わり 予習：寸劇の内容を考える 21　生活環境の重要性 利用者の居場所つくり 学習課題　復習：寸劇・物づくり 予習：演技のシュミレーション 22　さまざまな生活支援とその意義 九文幼稚園訪問 学習課題　復習：福祉が子供に及ぼす影響について考える。 予習：九文幼稚園を通して福祉についてレポートまとめ 23　さまざまな生活支援とその意義 介護職が行う生活支援 生活支援を見出す相談援助と社会・文化的な援助 学習課題　復習：ノートを見直す。テキストｐ121～149まで読む。 予習：演習2-10、2-11、3-1、3-2、3-3をする。 24　さまざまな生活支援とその意義 生活支援を見出す相談援助と社会・文化的な援助…演習3-1、3-2、3-3 学習課題　復習：テキストｐ150～155まで読む。 予習：テキスト　ｐ158～170まで読む。 25　尊厳を支える介護 ノーマライゼーションの実現 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：演習3-4、3-5をする。 26　尊厳を支える介護 ノーマライゼーションの実現…演習3-4、3-5 学習課題　復習：各グループが発表したことをまとめる。 予習：テキスト　ｐ173～183まで読む。 27　ＩＣＦの考え方 介護におけるＩＣＦの捉え方…演習3-6、3-7 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストｐ186～200まで読む 28　介護とリハビリテーション 介護実践におけるリハビリテーションの考え方 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：市内のリハビリテーション病院について調べる。 29　介護とリハビリテーション 介護実践におけるリハビリテーションの考え方…リハビリテーション病院見学 学習課題　復習：テキストｐ186～200まで読む 30　介護とリハビリテーション 介護実践におけるリハビリテーションの考え方…リハビリテーション病院見学 学習課題　復習：テキストｐ186～200まで読む
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①介護とは何かを歴史的経過を基に介護が必要になった理由を関連づけることができる。 ②介護の成り立ちや考え方を理解し、生活支援としての介護の役割や専門性について関連づけることができる。 ③学生自身の生活について基本的な理解を深め、その上で利用者個人の「生活ニーズ」、「その人らしさ」を大切に する介護のあり方について討議できる。 ④介護福祉士に求められている「尊厳を支える介護」の提供について考え、様々な生活支援技術の意義について言え る。 ⑤介護を展開する上で関わりの深い「リハビリテーション」と関連づけることができる。 ①授業におけるグループでの課題の取り組みの態度やパワーポイントでの発表方法　30% ②紙媒体における定期評価　70% ③授業態度 を総合して評価を行う。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会　第3版　「新・介護福祉士養成講座　３　『介護の基本Ⅰ』　中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語及び私見をもって授業に臨むようにしてください。

講義科目名称：介護の基本Ｂ　　授業コード：41041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	１年	４単位	必修
担当教員			
北村　光子			

講義概要	「介護の基本」は領域「介護」の基盤となる教科であることから、ケアマネジメントや職業倫理、リスクマネジメント、介護従事者の健康管理などについて学ぶことにより、安全かつ安心できる介護や信頼のおける介護の実現を理解する。
授業計画	1　介護福祉士の現状 介護問題と介護福祉士像 学習課題　復習： 予習：テキストｐ2～8まで読む。 2　介護福祉士の現状 介護問題と介護福祉士像…演習1-1 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストｐ10～17まで読む。 3　社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士及び介護福祉士法 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：演習1-2、1-3をする。 4　社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士及び介護福祉士法…演習1-2、1-3 学習課題　復習：クラスメイトの発表を聴きまとめる。 予習：テキストｐ19～28まで読む。 5　介護における専門職能団体の活動 日本介護福祉士会の役割 学習課題　復習：テキストｐ10～17まで読む。 予習：演習1-4、1-5をする。 6　介護における専門職能団体の活動 様々な専門職種の職能団体…演習1-4、1-5 学習課題　復習：クラスメイトの発表を聴きまとめる。 予習：テキストｐ30～45まで読む。 7　介護福祉士の倫理 介護実践における倫理 学習課題　復習：ノートを見直す 予習：介護福祉士の倫理綱領を調べる 8　介護福祉士の倫理 介護福祉士会の倫理綱領 学習課題　復習：倫理綱領の中で重要と思う点や今後の自分の姿勢に対して考える。 予習：多職種の倫理綱領について調べる。 9　介護福祉士の倫理 多職種の倫理綱領…グループで発表 学習課題　復習：グループの発表を聴きまとめる。 予習：1-6、1-7をする。 10　介護福祉士の倫理 感染症対策の倫理的実践 学習課題　復習：テキストｐ30～45まで読む。 予習：テキストｐ50～62まで読む。 11　介護サービスの特性 介護サービスとケアマネジメント 学習課題　復習：ノートを見直す 予習：テキストｐ63～77まで読む。 12　介護サービスの特性 介護サービスの歴史的変換とサービスの種類 学習課題　復習：ノートの見直し 予習：演習2-1、2-3をする。演習2-2については、実習中に尋ねる。 13　介護サービスの特性 介護サービス…演習2-1、2-3をする。

学習課題　復習：テキストｐ50～77まで読む。
予習：テキストｐ80～107まで読む。

14　介護サービス提供の場の特性
高齢者に対する居宅系・入所系サービス

学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習2-4、2-6をする。

15　介護サービス提供の場の特性
高齢者に対する居宅系・入所系サービス…演習2-4、2-6

学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習2-5をする。

16　介護サービス提供の場の特性
高齢者に対する居宅系・入所系サービス…演習2-5

学習課題　復習：テキストｐ80～107まで読む。
予習：テキストｐ108～116まで読む。

17　介護サービス提供の場の特性
障害者に対する居宅系・入所系サービス

学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習2-8をする。

18　介護サービス提供の場の特性
障害者に対する居宅系・入所系サービスと演習2-8

学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習2-7、2-9をする。

19　介護サービス提供の場の特性
障害者に対する居宅系・入所系サービス…演習2-7、2-9

学習課題　復習：テキストｐ108～116まで読む。
予習：テキストｐ122～142まで読む。

20　多職種連携
多職種連携の意義と目的

学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習3-1、3-2をする。

21　多職種連携
多職種連携の実際と演習3-1、3-2

学習課題　復習：テキストｐ122～142まで読む。
予習：テキストｐ144～160まで読む。

22　地域連携
地域連携の意義と目的と演習3-3

学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習3-4、3-5をする。

23　地域連携
地域連携の実際と演習3-4、3-5

学習課題　復習：テキストｐ144～160まで読む。
予習：テキストｐ164～173まで読む。

24　介護における安全の確保
介護における安全とリスクマネジメントと演習4-1、4-2

学習課題　復習：ノートの見直し。
予習：テキストｐ176～188まで読む。

25　事故防止、安全対策
生活の中のリスク対策と演習4-3、4-4

学習課題　復習：ノートの見直し
予習：テキスト191～199まで読む

26　感染管理のための方策
生活の場での感染対策と演習4-6

学習課題　復習：ノートの見直し。
予習：テキストｐ200～211まで読む。

27　感染管理のための方策
感染対策の基礎知識と演習4-7

学習課題　復習：ノートの見直し。
予習：テキストｐ216～231まで読む。

28　健康管理の意義と目的、必要な知識
こころとからだの健康管理と演習5-1

学習課題　復習：ノートの見直し。
予習：演習5-2をする。

	29　安心して働ける環境づくり 労働環境と演習5-2 学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：演習5-3、5-4 30　今後の介護福祉士のあり方 労働環境（演習5-3、5-4）と介護福祉士の将来 学習課題　復習：テキストp242～247まで読む。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①「介護福祉士」が誕生した経緯や職業意識、そして介護福祉士の法的根拠から職業倫理を理解できる。 ②ケアマネジメントを理解し、介護サービス提供の環境を歴史的背景を踏まえ介護のあり方を理解できる。 ③介護に関連する職種や機関の特性を知り、チームケアの重要性を理解できる。 ④リスクマネジメントの考え方を理解し、介護場面での事故および感染症対策の実際や具体的手法について理解でき る。 ⑤介護者の健康管理に必要な基礎的知識と技術が理解できる。 授業における課題の取り組み（20%）、定期評価（80%）を総合して評価する
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会　第3版　「新・介護福祉士養成講座　4　『介護の基本Ⅱ』　中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	自分たちの生活を振り返り、介護に関連づけて学んで下さい。

講義科目名称：介護の基本Ｃ　　授業コード：42041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年生	４単位	必修
担当教員			
北村　光子			

講義概要	①利用者が安心して生きがいのある生活が営める生活環境について考える。 ②領域「社会の理解」と「こころとからだのしくみ」で学んだ知識と介護の専門性を統合する。 ③人間・社会・生活、に焦点をあてて介護の専門性を理解し、連携方法を考える。 ④課題解決のための提案をすることができる。 ⑤利用者の生活障害に対する介護福祉士の社会的役割を自ら考える。
授業計画	1　介護に携わる人の健康管理 健康管理の意義と目的　テキストⅡ　p230 2　介護に携わる人の健康管理 バーンアウト症候群の理解とその予防　テキストⅡp240 3　介護に携わる人の健康管理 介護の労働環境　テキストⅡp249　テキストⅠ　p18 4　介護に携わる人の健康管理 介護の労働環境 新聞・雑誌からの最新情報収集 5　介護に携わる人の健康管理 介護の労働環境 新聞・雑誌からの最新情報収集 6　介護に携わる人の健康管理 介護の労働環境（まとめ発表） 7　介護福祉士の倫理Ⅰ 様々な職種の倫理綱領など 8　介護の働きと基本視点Ⅰ 尊厳を支える介護・実習の体験から（Ⅰ）　テキストⅠp173 9　介護の働きと基本視点Ⅱ 尊厳を支える介護・実習の体験から（Ⅱ）　テキストⅠp173 10　介護福祉士の倫理Ⅱ 倫理的葛藤 11　介護の働きと基本視点Ⅲ 尊厳を支える介護 12　介護福祉士の倫理Ⅲ 「価値」について 13　地域活動 地域連携と介護の関わり 14　地域活動 地域連携と介護の関わり 15　介護福祉のイメージアップ 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 16　介護福祉のイメージアップ 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 今後の計画立案 17　介護福祉のイメージアップ 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 今後の計画発表 18　介護福祉のイメージアップ 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 今後の具体的計画 19　介護福祉のイメージアップ 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 今後の具体的計画 20　介護福祉のイメージアップ 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 計画実施

	21　介護福祉のイメージアップ 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 計画実施 22　さまざまな生活支援とその意義Ⅰ（川原） 家族支援 23　さまざまな生活支援とその意義Ⅱ（川原） 交互色彩分割法 24　さまざまな生活支援とその意義Ⅲ 相談援助・精神的支援・家族支援（前期高齢者） 25　さまざまな生活支援とその意義Ⅳ 相談援助・精神的支援・家族支援（後期高齢者） 26　さまざまな生活支援とその意義Ⅴ 相談援助・精神的支援・家族支援（障害者） 27　さまざまな生活支援とその意義 相談援助・精神的支援・家族支援（障害児） 28　専門職業人 介護福祉士のあり方Ⅰ 29　専門職業人 介護福祉士のあり方Ⅱ 30　専門職業人 介護福祉士のあり方Ⅲ
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自立に向けた介護の具体的な対処方法を検討することができる ②介護を必要としている人への理解を深める ③介護福祉援助展開において、介護福祉の基本原則に則った対人援助の方法と技術を習得する ④介護・福祉の今後の課題を検討することができる ⑤介護職に求められる倫理観について、基本的な考え方を習得する レポート、演習態度・授業態度・定期試験、を総合的に評価する。 【演習・授業態度（20%）、出席率・提出物（10%）、定期試験（70%）】 【関心・意欲・態度】協調性（10%） 【思考・判断】討議（10%） 【技能・表現】提出物（10%） 【知識・理解】定期試験（70%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：配布資料. 参考：介護福祉士養成講座編集委員会「新　介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」「新　介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」（（中央法規出版）. 参考：『アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック』みらい出版.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後、お昼休み時間
備考・メッセージ	１．授業は1年次に学習した内容の確認と補足、応用に向けての演習授業が中心となります。 ２．配布資料中心の授業です。

講義科目名称：コミュニケーションＡ　　授業コード：13141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
北村光子・川原ゆかり			

講義概要	①人間関係を成立させる為の信頼関係の重要性を理解する. ②コミュニケーションの役割を理解する. ③コミュニケーション技術の基礎を理解する. ④カウンセリング技術の基礎を理解する. ⑤介護を必要とする方々への理解を深めるとともに、それぞれの方々に応じたコミュニケーション技術を身につける。
授業計画	1　介護におけるコミュニケーションの基本 コミュニケーションとその役割 学習課題 予習：テキスト　p41～51まで読む 復習：テキスト　ｐ2～ｐ40 2　介護におけるコミュニケーションの基本 生活支援技術とコミュニケーション 学習課題 予習：テキスト　p52～50まで読む 復習：テキスト　p41～51まで読む 3　利用者・家族とのコミュニケーション 話を聴く技法 学習課題 予習：テキストｐ61～71まで読む 復習：ノートの整理 4　利用者・家族とのコミュニケーション 感情表現を察する技法 学習課題 予習：テキストｐ72～80まで読む 復習：ノートの整理 5　利用者・家族とのコミュニケーション 納得と同意を得る技法 学習課題 予習：テキストｐ81～105まで読む 復習：ノートの整理 6　利用者・家族とのコミュニケーション 質問の技法と相談助言・指導の方法 学習課題 予習：テキストｐ93～104まで読む 復習：ノートの整理 7　利用者・家族とのコミュニケーション 利用者の意欲を引き出す技法と利用者・家族の意向を調整する技法 学習課題 復習：ノートの整理 8　介護場面におけるコミュニケーションⅠ（川原） 対人援助のための心理療法Ⅰ（スクイグル） 9　介護場面におけるコミュニケーションⅡ（川原） 対人援助のための心理療法Ⅰ（コラージュ手法） 10　介護におけるチームのコミュニケーション チームのコミュニケーション 学習課題 予習：テキスト　p209～227まで読む 復習：ノートの整理 11　介護におけるチームのコミュニケーション 介護記録の意義・目的 学習課題 予習：テキスト　p232～233まで読む 復習：ノートの整理 12　介護におけるチームのコミュニケーション 介護記録の書き方と留意点 学習課題 予習：テキスト　p234～236まで読む 復習：ノートの整理 13　介護におけるチームのコミュニケーション 記録の活用と情報管理 学習課題 予習：テキスト　p242～246まで読む 復習：ノートの整理

	14　　介護におけるチームのコミュニケーション 連絡・報告・相談の必要性 学習課題 予習：テキスト　p248～256まで読む 復習：ノートの整理 15　　介護におけるチームのコミュニケーション 会議の必要性 学習課題 復習：ノートの整理
授業形態	授業・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①コミュニケーションの役割がわかる。 ②人間関係を成立するための信頼関係の重要性を説明できる ③受容、傾聴、共感、要約、質問、などの、カウンセリングの基礎を身につける。 ④相談、助言、指導、の技法を適切に使い分けることができる。 ⑤利用者及び家族間の多様なコミュニケーション方法を理解できる。 授業・演習態度（10%）、レポート・振り返りシート（20%）、定期試験（70%）を総合して評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト１：適時資料を配布する. テキスト２：介護福祉士養成講座編集委員会「新・介護福祉士養成講座5『コミュニケーション技術』第３版 中央法規出版.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後。その他、随時、研究室にて受け付ける。
備考・メッセージ	なるべく楽しい演習を取り入れますが、「そもそも、何のための演習だったのか」を常に意識して振り返るようにしてください。

講義科目名称：コミュニケーションB　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
小鳥居　静香			

講義概要	①「コミュニケーションA」で学習したコミュニケーションの基礎を応用する力を身につける。 ②障がいの程度や種別、生活状況に応じたコミュニケーションを学び、実践する。 ③日常生活の中で利用者の心のゆとりが得られるアクティビティを提供する技術の習得を目指す。 ④対象者のニーズに沿ったアクティビティの提供方法を自ら考える力を身につける。 ⑤対象者とその家族、関連職種とのコミュニケーション力を身につける。
授業計画	1　コミュニケーションとは ・〝コミュニケーション”とは何か、を正しく理解し、説明することができる 2　コミュニケーション障害の理解Ⅰ ・テキストｐ136～147. 3　コミュニケーション障害の理解Ⅱ ・テキストｐ148～160. 4　利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅠ ・テキストｐ161～197．配布資料. 音楽療法的レクリエーション 5　利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅡ ・テキストｐ161～197．配布資料. 音楽療法的レクリエーション 6　利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅢ ・テキストｐ161～197．配布資料. 音楽療法的レクリエーション 7　介護におけるチームのコミュニケーションⅠ テキストｐ200～208．配布資料. 価値・協力・集団 8　描画療法と対人援助Ⅰ ・ 9　描画療法と対人援助Ⅱ ・ 10　利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅣ ・テキストｐ161～197．配布資料. 回想法的レクリエーション 11　利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅤ ・テキストｐ161～197．配布資料. 回想法的レクリエーション 12　利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅥ テキストｐ161～197．配布資料. 回想法的レクリエーション 13　介護におけるチームのコミュニケーションⅡ ・テキストｐ209～241 記録 14　介護におけるチームのコミュニケーションⅢ ・テキストｐ242～257. 報告・連絡・相談・会議 15　介護におけるチームのコミュニケーションⅣ ・テキストｐ242～257. 報告・連絡・相談・会議
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①コミュニケーション対象者の特徴を理解する。 ②コミュニケーション障害とは何か、を理解する。 ③障害の程度や種別より適切にアセスメントを行い、実践し、評価する力を身につける。 ④対象者のニーズに沿ったアクティビティの提供方法を考え、提供する力を身につける。 ⑤障がいのある方、その家族、関連職種とのコミュニケーション方法を理解する。 定期考査、授業または演習態度やレポートの提出。 【授業・演習態度（３０％）、レポート・振り返りシート（１０％）、定期試験（６０％）】 【関心・意欲・態度】マナー、主体性（10%） 【思考・判断】他者との協力（10%） 【技能・表現】応用、課題解決（10%）レポート（10%） 【知識・理解】定期試験（60%）
科目（教職課程用）	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会　新・介護福祉士養成講座5『コミュニケーション技術』第3版中央法規出版. その他　：適時配布.
履修条件	
履修上の注意	この科目は、レクリエーションインストラクター養成課程の関連科目です
オフィスアワー	授業終了後。その他、随時、研究室にて受け付ける。
備考・メッセージ	演習においては、課題に対する自発的、積極的な取り組みが前提となります。

講義科目名称：生活支援技術Ａ　　授業コード：23041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	１年	４単位	必修
担当教員			
田川　千秋　・　北村　光子			

講義概要	高齢者・障がい者の生活全体観察し、利用者が求めている生活とは何か、自立を支えるためにはどのような支援が適切か、を考え、特に「こころとからだ」の領域と関連しながら、生活支援技術について学ぶ。
授業計画	1　生活を理解する視点 生活支援とは何か学び、まずは自らの生活や身近な家族、クラスメイトの生活について考える 学習課題　予習：テキストⅠP2～P13 2　生活支援の基本的な考え方 生活を理解する視点として、生活の場の特徴や生活の構成要素を学ぶ 学習課題　復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキストⅠP14～P45 3　生活支援と介護予防 日常生活における介護予防 学習課題　復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキストⅠｐ96～180 4　居住環境の整備 居住環境のアセスメント、環境整備の工夫と留意点（実習室） 学習課題　復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキストⅠｐ71～94 5　生活支援と福祉用具の活用Ⅰ 代表的な福祉用具の種類と機能、福祉用具・住宅改修の利用（実習室） 学習課題　復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキストⅠｐ71～94 6　生活支援と福祉用具の活用Ⅱ 代表的な福祉用具の種類と機能、福祉用具・住宅改修の利用（実習室） 学習課題　復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキストⅡｐ342～348 7　環境整備 ベッドメイキングの方法について学ぶ（実習室） 学習課題　復習：代表的な福祉用具の種類と機能 予習：テキストⅡｐ342～348、ベッドメイキングの方法について 8　環境整備 ベッドメイキング実技（実習室） 学習課題　復習：ベッドメイキングの方法・実技 予習：ベッドメイキングの実技について、実習室で練習をしておくこと 9　環境整備 ベッドメイキング実技（実習室） 学習課題　復習：ベッドメイキングの方法について 予習：ベッドメイキングの実技について、実習室で練習をしておくこと 10　身じたく ベッドメイキング実技試験（実習室） 学習課題　復習：ベッドメイキングの方法について 予習：テキストⅡｐ98～115まで読む。演習3-1～3-2をする。 11　移動の介護 移動の意義と目的と演習3-1、3-2 学習課題　復習：移動の意義と目的について 予習：テキストⅡp109～159まで読む。車椅子の各部の名称を覚える。 12　移動の介護 移動・移乗における介護技術　…仰臥位から端坐位まで（実習室） 学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡp159～178まで読む。 13　移動の介護 移動・移乗における介護技術　…車椅子への移乗（実習室） 学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡp159～178まで読む。 14　移動の介護 移動・移乗における介護技術　…端坐位～歩行まで（実習室） 学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。 予習：演習3-3～3-6までする。 15　移動の介護 移動・移乗における介護技術　…演習3-3、3-6（実習室） 学習課題　復習：各グループの発表を聴きまとめる。 予習：移動の基本的な援助技術の再確認 16　移動の介護 移動・移乗における介護技術…実技試験（実習室） 学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

予習：テキストⅡp188～191まで読む。

17　食事の介護
食事の意義と目的
学習課題　復習：配布資料・ノートを見直す。
予習：演習4-1、4-2をする。

18　食事の介護
食事の意義と目的…演習4-1、4-2
学習課題　復習：テキストⅡp188～191まで読む。
予習：テキストⅡp194～210まで読む。

19　食事の介護
食事における生活支援技術
学習課題　復習：配布資料・ノートを見直す。
予習：演習4-3、4-4をする。

20　食事の介護
食事における生活支援技術…演習4-3、4-4をする。
学習課題　復習：テキストⅡp194～210まで読む。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

21　食事の介護
食事における生活支援技術　…刻み食・ミキサー食（実習室）
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：食事介助の基本的な援助技術の再確認

22　食事の介護
食事における生活支援技術　…刻み食・ミキサー食（実習室）
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：食事介助の基本的な援助技術の再確認

23　食事の介護
食事における生活支援技術…移動も含めた実技試験
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：食事介助の基本的な援助技術の再確認

24　食事の介護
食事における生活支援技術…移動も含めた実技試験
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：テキストⅡp45～64まで読む。

25　身じたくの介護
口腔ケアの意義・目的
学習課題　復習：配布資料・ノートを見直す。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

26　身じたくの介護
口腔ケアの生活支援技術　…（実習室）
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：演習2-5、2-6をする。

27　身じたくの介護
口腔ケアの生活支援技術
学習課題　復習：テキストⅡp45～63まで読む。
予習：テキストⅡp64～83まで読む。

28　身じたくの介護
着脱衣の意義目的
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

29　身じたくの介護
着脱衣の生活援助技術　…実習室
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：演習2-8、2－8をする。

30　身じたくの介護
着脱衣の生活援助技術…移動も含めた実技試験
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：テキストⅡp222～224まで読む。

31　入浴の介護
入浴・清潔保持の意義・目的
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習5-1、5-2をする。

32　入浴の介護
入浴・清潔保持におけるアセスメント…演習5-1、5-2
学習課題　復習：テキストp222～224まで読む。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

33　入浴の介護
入浴・洗髪の生活援助技術　（実習室）
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

34　入浴の介護
入浴・洗髪の生活支援技術…　（実習室）
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

35　入浴の介護
入浴・洗髪の生活支援技術…
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

予習：テキストp228～254まで読む。

36　入浴の介護
部分浴・整容・清拭
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

37　入浴・整容の介護
部分浴・整容・清拭の生活支援技術…　（実習室）
学習課題　復習：テキストⅡp228～255まで読む。
予習：テキストp28～44まで読む。

38　入浴・整容の介護
部分浴・整容・清拭の生活支援技術…　（実習室）
学習課題　復習：テキストⅡp228～255まで読む。
予習：テキストⅡp28～44まで読む。

39　入浴・整容の介護
部分浴・整容・清拭の生活支援技術…　（実習室）
学習課題　復習：テキストⅡp228～255まで読む。
予習：テキストⅡp28～44まで読む。演習5-3、5-4、演習2-3、2-4をする。

40　入浴・清潔保持・身じたくの介護
入浴・清潔保持・身じたくの介護…演習演習5-3、5-4、演習2-3、2-4
学習課題　復習：テキストⅡp228～255まで読む。
予習：テキストⅡp28～44まで読む。

41　入浴・清潔保持・身じたくの介護
入浴・清潔保持・身じたくの介護…演習演習5-3、5-4、演習2-3、2-4
学習課題　復習：テキストⅡp228～255まで読む。
予習：テキストⅡp270～274まで読む。

42　排泄の介護
排泄の意義と目的
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習6-1、6-2をする。

43　排泄の介護
排泄のアセスメント…演習6-1、6-2
学習課題　復習：テキストⅡp270～274まで読む。
予習：テキストⅡp277～302まで読む。

44　排泄の介護
排泄における生活支援技術
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：テキストⅡp303～322まで読む。

45　排泄の介護
排泄における生活支援技術
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

46　排泄の介護
排泄における生活支援技術　…（実習室）
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

47　排泄の介護
排泄における生活支援技術　…（実習室）
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習6-3、6-4をする。

48　排泄の介護
排泄における生活支援技術…演習6-3
学習課題　復習：テキストp277～317まで読む。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

49　排泄の介護
排泄における生活支援技術…移動を含む実技試験　（実習室）
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。

50　排泄の介護
排泄における生活支援技術…移動を含む実技試験　（実習室）
学習課題　復習：テキストに載っている写真をみて援助技術をイメージする。
予習：テキストⅡp334～338を読む

51　睡眠の介護
睡眠の意義と目的
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習7-1、7-2をする。

52　睡眠の介護
睡眠のアセスメント…演習7-1、7-2
学習課題　復習：テキストⅡp334～338を読む。
予習：テキストⅡp340～341、349～355を読む。

53　睡眠の介護
安眠の基本的理解　（実習室）
学習課題　復習：ノートを見直す。
予習：演習7-3をする。

54　睡眠の介護
安眠の基本的理解…演習7-3　（実習室）
学習課題　復習：テキストⅡp334～338、p340～341、349～355を読む。

	予習：テキストⅡp90～94を読む。演習2-9、2-10をする。 55　生活支援技術総括Ⅰ 身じたくの介護における多職種の役割と協働 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡp213～217を読む。演習4-5、4-6をする。 56　生活支援技術総括Ⅱ 食事の介護における多職種の役割と協働 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡp262～226を読む。演習5-5、5-6をする。 57　生活支援技術総括Ⅲ 入浴・清潔保持の介護における多職種の役割と協働 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡp326～330を読む。演習6-5、6-6をする。 58　生活支援技術総括Ⅳ 排泄の介護における多職種の役割と協働 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡp359～362を読む。演習7-6、7-7をする。 59　生活支援技術総括Ⅴ 睡眠の介護における多職種の役割と協働 学習課題　復習：ノートを見直す。 予習：実習に向けて援助技術の見直し 60　生活支援技術総括Ⅵ 実習に向けての援助技術の見直し　　（実習室）
授業形態	演習・講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①領域「こころとからだ」で学んだ知識を応用してアセスメントし、適切な生活支援技術ができる。 ②居住環境の整備、身じたく、清潔、入浴、排泄、食事、移動などの基礎的な生活支援技術の知識・技術の習得し、援助に応じた福祉用具を活用できる。 ③利用者のこれまでの暮らしに視点を置き、介護福祉の援助と自立支援に向けたチームケアを理解する。 ④ICFの概念に基づいてアセスメントを行い、個別性に応じた援助ができる。 ⑤感染予防、腰痛予防、ボディメカニクスなどのセイフティーマネージメントができる。 定期試験、演習レポートの内容、実技項目テストによる評価 定期試験（50%）、演習（技術項目テスト）（30%）、小テスト（10%）、授業態度（10%）を総合して評価を行う
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会「新　介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」、7「生活支援技術Ⅱ」中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	授業の前は、各自で準備体操、整理体操を行ってください。
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、実技演習を実習にて復習すること。

講義科目名称：生活支援技術Ｂ　　授業コード：11141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
木村　貞子　・　大河内　友美			

講義概要	『食生活と栄養・調理』に関する幅広い知識を得るための講義と、その理解を深めるための演習を通して、利用者の食生活における支援技術を習得する。 『家庭生活』『被服生活』『住生活』について利用者に対する援助の視点から実習を中心とした学習を行う。
授業計画	１　食生活の基礎知識 食文化、行事食、食生活の変化 課題学習　予習：教科書P217～218　復習：教科書該当箇所 ２　栄養素の理解 五大栄養素　働きと欠乏症 課題学習　予習：教科書P218～P222　復習：教科書該当箇所 ３　食事バランス 献立の立て方、留意点　　こ食の問題 課題学習　予習：教科書P223～P224、P292～P296　復習：教科書該当箇所 ４　高齢者の身体機能と栄養 身体機能に合わせた食事計画 課題学習　予習：教科書P236～P240　復習：教科書該当箇所 ５　調理の基本（1） 調理器具の使い方、米の調理、野菜の切り方 課題学習　予習：教科書P232～P234　復習：教科書該当箇所 ６　調理の基本（2） 肉・魚の調理、保存、調理法の違いによる食感の違い 課題学習　予習：教科書P234～P235　復習：教科書該当箇所 ７　調理の基本（3） 卵の調理、保存、調理法の違いによる食感の違い 課題学習　予習：教科書P235　復習：教科書該当箇所 ８　調理の基本（4） だし（うまみ）の利用、汁物、とろみの付け方 課題学習　予習：教科書P236～P239　復習：教科書該当箇所 ９　調理による高齢者への配慮（1） 食事提供温度と味付け 課題学習　予習：教科書P238～P240　復習：教科書該当箇所 １０　調理による高齢者への配慮（2） 調理形態と食事摂取の支援 課題学習　予習：教科書P244　復習：教科書該当箇所 １１　調理支援、在宅での食事の準備（1） 調理上のさまざまな工夫や活用 課題学習　予習：教科書P293～P299　復習：教科書該当箇所 １２　調理支援、在宅での食事の準備（2） 配食サービスについて １３　高齢者の身体機能と栄養(1) 楽しい食事の演出 課題学習　予習：教科書P241　復習：これまでの講義内容 １４　高齢者の身体機能と栄養(2) 楽しい食事の演出 課題学習　予習：教科書P241　復習：これまでの講義内容 １５　家庭生活 日本の家庭生活の変化について １６　家庭生活 家庭経済、消費者の保護について １７　家庭生活 被覆の機能、繊維の性質、三原組織について １８　家庭生活 洗濯、漂白、染み抜き、仕上げ、保管、洗剤について １９　裁縫 ミシン糸と針の関係について ２０　裁縫 地直し、布目方向、布の裁断、玉結び、玉止め ２１　裁縫 布の裁断、玉結び、玉止め演習

	２２　裁縫 ボタン、ホック、ゴムの入れ方、マジックテープの貼り方 ２３　裁縫 製作（並み縫い、まつり縫い、かがり縫い） ２４　裁縫 雑巾製作 ２５　裁縫 クッション製作 ２６　裁縫 エプロン製作 ２７　裁縫 ミシンの糸通し ２８　裁縫 ミシンで並縫い ２９　住居 快適な室内環境と階段における環境整備 ３０　住居 住まいの管理と住宅における健康障害
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①栄養に関する基礎知識を習得する。 ②利用者にとっての食事の意義と目的を知り、利用者に適した食事を理解し、支援援助の技能を習得する。 ③家庭の機能について理解する。 ④被服の機能について理解し製作を通して技能を習得する。 ⑤住居の機能を理解する。 食生活に関しては定期評価の結果や授業への取り組み方、レポートなどを総合して評価とする。 被服に関しては被服製作品の提出、部分縫いの提出も評価の対象とする。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新・介護福祉士養成講座　６　『生活支援技術Ⅰ』第３版」中央法規出版 参考書：
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	大河内：水曜日・木曜日放課後
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】調理実習時は、エプロン・三角巾・清潔な手ふきタオルを用意してください。 製作進度が順調にいくように材料や道具を忘れないこと。

講義科目名称：生活支援技術Ｃ　　授業コード：22041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	２単位	必修
担当教員			
田川　千秋　・　北村　光子			

講義概要	多種多様な障害のある利用者に対して、様々な手法の生活援助技術を用いて、安全に援助できる知識・技術を習得できる
授業計画	1　心臓機能障害に応じた生活支援技術 心臓機能障害のある人の理解と生活支援 介護技術の展開と他職種との連携・協働 2　心臓機能障害に応じた生活支援技術 心臓機能障害のある人の理解と生活支援 介護技術の展開と他職種との連携・協働 3　腎臓機能障害に応じた介護 腎臓機能障害のある人の理解と生活支援、介護技術 ４　呼吸機能障害に応じた介護 呼吸機能障害のある人の理解と支援方法 介護技術の展開と他職種との連携・協働 5　呼吸機能障害に応じた介護 呼吸機能障害のある人の理解と支援方法 介護技術の展開と他職種との連携・協働 6　膀胱・直腸機能障害に応じた介護 膀胱・直腸機能障害の特性と支援方法及び留意点 7　肝臓機能障害に応じた介護 肝臓機能障害の特性と、その支援方法及び留意点 8　精神障害に応じた生活支援技術 精神障害者の特性や生活の理解、生活支援方法 9　精神障害者に対する介護技術の展開と他職種との協働と連携 10　障害をもつ利用者の状態、状況に応じた生活支援技術とは。 社会福祉士及び介護福祉士の定義の変遷と利用者のニーズについて 11　視覚障害に応じた介護 視覚障害のある人の生活の理解および支援と環境整備 12　視覚障害者に対する介護技術の展開と他職種の役割と協働・連携 社会資源の利用・視覚障害のある人の生活（演習） 13　聴覚障害に応じた介護 聞こえの障害・聴力検査・補聴器について 14　聴覚障害者に対するコミュニケーションと支援 15　言語障害とは 言語障害のある人の特徴および配慮 16　聴覚障害および言語障害のある人の生活 演習 17　重複障害（盲ろう）に応じた介護 盲ろう者と生活の理解および介護技術の展開 他職種との役割と協働、連携（演習） 18　運動機能障害に応じた介護 運動機能障害と道常生活動作（ADL） 19　運動機能障害のある人の生活支援（1） 運動器疾患による障害と支援 20　運動機能障害のある人の生活支援（2） 神経・筋疾患による障害と支援（演習） 21　知的障害に応じた介護 知的障害のある人と生活の理解・心理的理解・医学的理解 他職種の役割と協働・連携 22　知的障害のある人に関わる上での留意点 知的障害者の地域生活における課題および演習 23　障害者に関する法律と相談支援事業

	24　高次脳機能障害に応じた介護 高次脳機能障害のある人と生活の理解 25　高次脳機能障害のある人の残存能力の拡大およびネットワークづくりと介護技術の展開（演習） 26　発達障害に応じた介護 発達障害の特性と個別支援計画および介護技術の展開 27　発達障害のある人に対する他職種の役割と協働、連携 28　重症心身障害に応じた介護 重症心身障害のある人の生活の理解と支援 介護技術の展開および連携と協働（演習） 29　終末期の介護 終末期ケアの意味と理念 30　終末期における介護技術 終末期の介護における他職種の役割と協働、連携
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①内部障害・精神障害の理解と生活支援について理解できる ②視覚・聴覚・言語障害等の理解と生活支援について理解できる ③知的・発達障害、高次脳機能障害等の理解と生活支援について理解できる ④障害に応じた生活支援技術とは何か、について説明できる ⑤終末期について考え、その生活支援について理解できる 授業における課題の取り組み（２０％）、授業内レポート（１０％）、定期評価（７０％）を総合して評価する
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：新介護福祉士養成講座７『生活支援技術Ⅱ』第３版　介護福祉士養成講座編集委員会　中央法規出版 新介護福祉士養成講座８『生活支援技術Ⅲ』第３版　介護福祉士養成講座編集委員会　中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後
備考・メッセージ	

講義科目名称：生活支援技術Ｄ　　授業コード：33041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	２単位	必修
担当教員			
原　潤貴　・　田川　千秋　・　北村　光子			

講義概要	1年次に習得した生活支援技術の演習を中心に振り返りを行い、基礎的理解を深め、実践力を身につける
授業計画	1　レクリエーション援助（原・北村） レクリエーションの意義・目的 2　レクリエーション援助（原・北村） レクリエーションが及ぼす生活リハビリテーションへの影響 学習課題　復習：プリントを読む 予習：施設におけるレクリエーションの実際を調べる 3　レクリエーション援助（原・北村） レクリエーションが及ぼす生活リハビリテーションへの影響（施設） 学習課題　復習：施設におけるレクリエーション 予習：在宅におけるレクリエーションの実際を調べる 4　レクリエーション援助（原・北村） レクリエーションが及ぼす生活リハビリテーションへの影響（在宅） 学習課題　復習：施設におけるレクリエーション 予習：在宅におけるレクリエーションの実際を調べる 5　レクリエーション援助（原・北村） レクリエーション計画立案 6　レクリエーション援助（原・北村） レクリエーション計画立案 7　レクリエーション援助（原・北村） 学生が考案したレクリエーション発表 学習課題　復習：調査から地域伝承の遊び・レクを発表する。 8　移動の介護（原・北村） 基礎的な移動介助の演習を行う（歩行介助・車椅子介助→トイレ・ポータブルトイレ） 学習課題　復習：移動に関する基礎知識、留意点について 予習：移動に関する基礎知識、留意点について 9　移動の介護（原・北村） 介護実習Ｉを振り返り、障害の程度に応じた移動介助の演習を行う（歩行介助・車椅子介助→トイレ・ポータブルトイレ） 学習課題　復習：移動に関する基礎知識、留意点について 予習：移動に関する基礎知識、留意点について １０　移動の介護（原・北村） 様々な移動介助（小テスト） １１　食事の介護（田川） 食事介助についての基礎知識、留意点について振り返りを行う 学習課題　復習：食事に関する基礎知識、留意点について 予習：食事に関する基礎知識、留意点、介助方法について １２　食事の介護（田川） 介護実習Ｉを振り返り、障害の程度に応じた移動介助の演習を行う 学習課題　復習：食事に関する基礎知識、留意点について 予習：食事に関する基礎知識、留意点について １３　食事の介護（田川） 様々な食事介助（小テスト） １４　排泄の介護（田川） 排泄介護に関する基礎知識、留意点について学ぶ （オムツ交換） 学習課題　復習：排泄に関する基礎知識、留意点について 予習：排泄に関する基礎知識、留意点、介助方法について １５　排泄の介護（田川） 介護実習Ｉを振り返り、障害の程度に応じた移動介助の演習を行う（オムツ交換） 学習課題　復習：排泄に関する基礎知識、留意点について 予習：排泄に関する基礎知識、留意点、介助方法について １６　排泄の介護（田川） 様々な排泄介助（小テスト） １７　身じたくの介護（田川） 身じたく介助の演習を行う 学習課題　復習：身じたくに関する基礎知識、留意点、介助方法について 予習：基礎的な介護方法を確認する

	１８　身じたくの介護（田川） 介護実習Ｉを振り返り、障害の程度に応じた移動介助の演習を行う 学習課題　復習：身支度に関する基礎知識、留意点について 予習：身支度に関する基礎知識、留意点、介助方法について １９　身じたくの介護（田川） 様々な排泄介助（小テスト） ２０　入浴の介護（田川） 入浴介護に関する基礎知識、留意点について学ぶ 学習課題　復習：入浴に関する基礎知識、留意点について 予習：障がいに関する基礎知識、留意点、介助方法について ２１　実習後の振り返り・技術の確認Ｉ（田川） 長期実習での体験した生活支援技術を振り返る ２２　実習後の振り返り・技術の確認Ⅱ（田川） 長期実習での体験した生活支援技術を振り返る ２３　実習後の振り返り・技術の確認Ⅲ（田川） 長期実習での体験した生活支援技術を振り返る ２４　事例を通しての総演習①（田川） 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題　復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について ２５　事例を通しての総演習②（田川） 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題　復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について ２６　事例を通しての総演習③（田川） 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題　復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について ２７　事例を通しての総演習④（田川） 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題　復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について ２８　事例を通しての総演習⑤（田川） 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題　復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について ２９　事例を通しての総演習⑥（田川） 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題　復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について ３０　事例を通しての総演習⑦（田川） 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題　復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について
授業形態	演習・講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①レクリエーション援助技術を習得する ②1年次に学んだ、移動、身じたく、移動、食事、排泄に関する生活支援技術を再確認し、理解を深めることができる ③介護実習を通して学んだ知識、技術をもとに、利用者の身体状況に応じた介護の根拠を理解する ④生活、疾患別、個別性に応じた生活支援技術を身につける ⑤グループディスカッションにより、技術の実践力、応用力を身につける 定期試験（70%）、演習態度（20%）、レポート（10%）を総合して評価を行う
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会　新　介護福祉士養成講座6、「生活支援技術Ｉ」、7「生活支援技術Ⅱ」 参考：介護福祉士養成講座編集委員会　新　介護福祉士養成講座8「生活支援技術Ⅲ」中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	疲労蓄積、腰痛予防の為に、各自で準備体操、整理運動を行ってください。1年次で習得したボディメカニクスを意識して行動してください。
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、実技演習を各自で復習してください。

講義科目名称：介護過程Ⅰ　　授業コード：32141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
北村　光子			

講義概要	介護過程の概要を知り、利用者のニーズを探究し介護実践での介護過程の意義を理解する。また、紙上の事例展開や実践活動を取り入れ介護過程の展開を知る。
授業計画	1　介護過程の意味 介護過程の展開と基本視点 学習課題　復習：テキストｐ2～9　介護過程とは 予習：テキストｐ10～12　介護過程の必要性 2　生活支援の考え方と介護過程の必要性① 介護過程と生活支援 学習課題　復習：テキストｐ10～12　介護過程と生活支援 予習：テキストｐ13　演習 3　生活支援の考え方と介護過程の必要性② 具体的な場面での介護過程の展開 学習課題　復習：テキストｐ13　演習での様々な考え方 予習：テキストｐ16～17　介護過程の全体像 4　介護過程の全体像① アセスメントの意味 学習課題　復習：テキストｐ16～17　介護過程の構成 予習：テキストｐ18～28　情報収集 5　介護過程の全体像② 情報収集 学習課題　復習：テキストｐ18～28　アセスメント 予習：テキストｐ29～31　情報の解釈・関連づけ・統合化 6　介護過程の全体像③ 根拠について 学習課題　復習：テキストｐ29～31　情報の解釈・関連づけ・統合化 予習：テキストｐ32～33　課題の明確化 7　介護過程の全体像④ 課題の明確化 学習課題　復習：テキストｐ32～33　生活ニーズの抽出 予習：テキストｐ34～38　アセスメントの実際 8　介護過程の全体像⑤ アセスメントの実際 学習課題　復習：テキストｐ34～35　アセスメントの実際 予習：テキストｐ38～46　演習 9　介護過程の全体像⑥ アセスメントの実施 学習課題　復習：演習の中から学生自身が見落とした情報を再確認する。 予習：テキストｐ48～50　個別援助計画 10　介護過程の全体像⑦ 個別援助計画とケアプラン 学習課題　復習：テキストｐ48～50　ケアマネと介護計画、個別援助計画 予習：テキストｐ５１～57　目標の設定と援助方法 11　介護過程の全体像⑧ 目的・目標の意味と援助 学習課題　復習：テキストｐ51～57　具体的な援助内容と目標 予習：テキストｐ58　個別援助計画 12　介護過程の全体像⑨ 個別援助計画の演習 学習課題　復習：自分で計画した援助計画を基にグループディスカッションを実施し、情報収集の見直 しを図る 予習：テキストｐ61～66　実施 13　介護過程の全体像⑩

	実施のための観察の視点・準備 学習課題　復習：テキストｐ61～66　実施 予習：テキストｐ67～72　状況把握と記録 14　介護過程の全体像⑪ 実施の準備と留意点 学習課題　復習：テキストｐ67～72　演習を通して再知識を高める 予習：テキストｐ73～９１　評価 15　介護過程の全体像⑫ 評価の意義と実際 学習課題　復習：テキストｐ73～９１　評価 予習：
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①総論的内容を学習し介護経過の意義を理解することが出来る。 ②介護過程の目的を理解することが出来る。 ③介護過程の内容を理解することが出来る。 ④介護の実践活動の考え方を学習することが出来る。 ⑤介護過程の構成要素について学習することが出来る。 授業における課題の取り組み（20%）、定期評価（70%）、授業態度（参考）、小テスト（10%）を総合して評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会　第3版　「新・介護福祉士養成講座　10　『介護過程』　中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解して下さい。

講義科目名称：介護過程Ⅲ　　授業コード：12142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期～前期	１～２年	２単位	必修
担当教員			
北村　光子			

講義概要	学内の授業や介護実習を通して学んだ知識や技術を統合するための事例演習に取り組み介護過程の展開を実践できる
授業計画	1　介護計画の立案 介護計画（個別援助計画） 学習課題　復習：アセスメントの見直し。 予習：テキストｐ52～64まで読む。 2　介護計画の立案 具体的な支援内容・方法の決定と演習2-2 学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：テキストｐ52～64まで読む。 3　介護計画の立案 具体的な支援内容・方法の決定と演習2-2 学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：配布プリントの事例を読む。 4　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 5　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 6　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 7　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 8　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 9　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 10　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 11　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 12　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする 13　介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる

		学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする
	14	介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる
		学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする
	15	介護計画の立案 事例からアセスメント１基づき優先順位を決定できる
		学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：テキストp66～71まで読む。
	16	実施 実施のための準備と留意点
		学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：テキストｐ72～76まで読む。演習2-3をする。
	17	実施 実施状況の把握と記録
		学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：テキストp78～85まで読む。
	18	評価 評価の意義と目的
		学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：テキストp86～94まで読む。
	19	評価 評価の方法
		学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：テキストp86～94まで読む。演習2-4をする。
	20	評価 評価の方法
		学習課題　復習：テキストp78～94まで読む 予習：テキストp98～108まで読む。
	21	介護過程とケアマネジメントの関係性 ケアマネジメントの全体像
		学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：演習3-1、3-2をする。
	22	介護過程とケアマネジメントの関係性 ケアマネジメントの全体像…演習3-1、3-2
		学習課題　復習：テキストp98～108まで読む。 予習：テキストp111～119まで読む。
	23	チームアプローチにおける介護福祉士の役割 チームアプローチの意義と実際
		学習課題　復習：ノートの見直し。 予習：演習3-3をする。
	24	チームアプローチにおける介護福祉士の役割 チームアプローチの意義と実際…演習3-3
		学習課題　復習：テキストp111～119まで読む。 予習：テキストp122～124まで読む。
	25	介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。
		学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする。
	26	介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。
		学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする。
	27	介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。
		学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする。
	28	介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。
		学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする。
	29	介護過程の実践的展開

	事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする。 30　介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。 学習課題　復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント１・２、個別援助計画の作成をする。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①個別援助計画とケアプランの関係を理解する。 ②個別援助計画の要素を理解する。 ③事例演習から、個別の生活課題や潜在能力の見極めの方法をアセスメントし理解する。 ④自立支援に沿った個別援助計画の立案・実施・評価・他職種協働によるチームアプローチの必要性を理解する。る⑤利用者の権利擁護や「こころとからだのしくみ」「社会の理解」「介護」の分野から学んだことが介護過程にどのような影響があるのかを学ぶ。 授業における課題の取り組み（10%）、定期評価（70%）、授業態度（参考）、小テスト（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会　第3版　「新・介護福祉士養成講座　10　『介護過程』　中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解してください。

講義科目名称：介護過程Ⅳ　　授業コード：31142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	１単位	必修
担当教員			
北村　光子			

講義概要	介護過程の理論と演習体験を関連づけながら、介護過程の展開が出来る。
授業計画	1　介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開 学習課題　復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し 2　介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開 学習課題　復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し 3　介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開 学習課題　復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し 4　介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開 学習課題　復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し 5　介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開 学習課題　復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し 6　介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開 学習課題　復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し 7　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。 8　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。 9　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。 10　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。 11　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。 12　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。 13　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く

	予習：寸劇に必要な台本を書く。 14　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を発表する。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：寸劇に必要な台本を書く。 15　介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を発表する。 学習課題　復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①個別援助計画の要素を理解する。 ②事例演習から、個別の生活課題や潜在能力の見極めの方法のアセスメントを理解する。 ③自立支援に沿った個別援助計画の立案・実施・評価・他職種協働によるチームアプローチの必要性を理解する。 ④総合視点（利用者の属性等の個人・環境因子など）様々な状況における事例を通して、介護過程の展開が出来るようになる。 ⑤介護過程における評価の時期、基準を学習する。 授業における課題の取り組み（10%）定期評価（50%）演習発表（40%）で評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会　第3版　「新・介護福祉士養成講座　10　『介護過程』　中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解してください。

講義科目名称：介護総合演習Ⅰ　　授業コード：52041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	１年	２単位	必修
担当教員			
北村　光子			

講義概要	実習体験を通して、目の前の個々の目的・実習に取り組み、その振り返りを次の実習につなげることができる。 他科目の進行状況や内容とも関連付けながら、実習や授業の総まとめとして捉え、基礎力、実践力、応用力を身につける。
授業計画	1　介護総合演習での学び 介護総合演習と介護実習の関わり 学習課題　予習：ｐ2～13まで読む 2　介護総合演習での学び 介護総合演習の位置づけ 介護総合演習の目的 学習課題　復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：テキストｐ14～30まで読む 3　介護実習での学び 介護実習の意義と目的 介護実習の種類 介護実習Ⅰ・Ⅱのスケジュール配布 学習課題　復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：テキストｐ36～43まで読む 4　介護実習での学び 実習マニュアル作成 実習前後学びの活かし方 学習課題　復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：テキストｐ46～58まで読む 5　介護実習での学び 事前学習の内容と方法 学習課題　復習：実習マニュアルを活用し実習前後の学びを再確認する 予習：テキストｐ156～164まで読む 6　介護実習Ⅰの展開 介護実習Ⅰのねらい 実習マニュアルで介護実習Ⅰの目標確認 学習課題　復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：演習5－1　佐世保市と近隣の特性を調べる 高齢者が集まるスポットを調べる 7　介護実習Ⅰの展開 演習5－1 学習課題　復習：佐世保市と近隣の特性を知る 予習：演習5－2（1・2）を調べる 8　介護実習Ⅰの展開 演習5－2 実習先も調査する 学習課題　復習：高齢者の生活を知りその状況を把握する 予習：テキストｐ74～80、120～127まで読む 9　実習先の特徴と学ぶポイント グループホームの特徴 訪問介護の特徴 実習マニュアルの活用 学習課題　復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：テキスト142～147まで読む 10　実習先の特徴と学ぶポイント 障害者支援施設 ビデオ（母ちゃんになりたい）を見て考える 実習マニュアルの活用 学習課題　復習：課題ビデオの感想文提出 予習：実習マニュアル記録用紙の確認。テキストｐ62～64を読む 11　事前学習の内容と方法 実習マニュアル 記録用紙の記入方法 学習課題　復習：記録用紙記入方法再確認 予習：テキストｐ59～61まで読む 12　介護実習前後の学び 事前訪問前後の方法 演習3－1 個人票最終確認 学習課題　復習：家族を相手に実演 予習：テキストｐ169演習5－5

	13	介護実習前後の学び 演習5ー5、5ー6、5ー7 実習用記録用紙配布 介護実習Ｉでの振り返り用紙配布（グループホーム・在宅） 学習課題　復習：コミュニケーションほ方法（テキストコミュニケーション技術も参考） 予習：テキストｐ66～71を読む 実習マニュアル介護実習Ｉ（グループホーム・在宅の該当ページを読む）
	14	介護実習前後の学び 実習体験の評価と整理の仕方 学習課題　復習：実習後の学びを深める 予習：テキストｐ174～178を読む。生活支援技術（移動、食事、排せつ、着脱衣、入浴）の再確 認
	15	介護実習Ｉの展開 介護技術の実践を軸にした介護実習 介護実習Ｉでの振り返り用紙配布（障害者支援施設） 学習課題　復習：生活支援技術の見直し 予習：実習マニュアル介護実習Ｉ（障害者施設の該当ページを読む）
	16	事後学習 実習の振り返りと自己評価、グループディスカッションを行う 学習課題　復習：マニュアル実習内容の確認 予習：実習の振り返り、自己評価、記録物の確認
	17	事後学習 実習の振り返りと自己評価、グループディスカッションを行う 学習課題　復習：マニュアル実習内容の確認 予習：ケースレポートについて理解し、発表会の運営についても理解する。
	18	ケースレポート発表会 ケースレポート発表会の聴講
	19	ケースレポート発表会 ケースレポート発表会の聴講 学習課題　復習：2年生の抄録などから長期実習での学びを理解する 予習：「ケースレポート発表会に参加して」の感想文を提出
	20	介護実習Ｉ・Ⅱ 再度、介護実習Ｉ・Ⅱについて理解をする 学習課題　復習；2年生のケースレポート論集を見る 予習：テキストｐ113～119まで読む
	21	実習外の施設 養護老人ホームの概要 学習課題　復習：テキスト、ノートで理解を深める 予習：テキストｐ127～134まで読む
	22	実習外の施設 小規模多機能型居宅介護 学習課題　復習：テキスト、ノートで理解を深める 予習：テキストｐ135～142まで読む
	23	実習外の施設 軽費老人ホーム（ケアハウス） 学習課題　復習：テキスト、ノートで理解を深める 復習：テキストｐ148～154まで読む
	24	実習外の施設 医療型障害児入所・療養介護施設 学習課題　復習：テキスト、ノートで理解を深める 予習：テキストｐ105～１13まで読む
	25	実習先の特徴と学ぶポイント 老人保健施設の理解 通所リハビリテーション 実習マニュアルでの目的、目標確認 実習記録物の配布 学習課題　復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：リハビリテーション病院の概要を調べる
	26	実習先の特徴と学ぶポイント 介護老人福祉施設 実習マニュアル 個人票確認 学習課題　復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：生活支援技術の再確認
	27	事前学習 介護老人福祉施設の概要を確認する 学習課題　復習：介護老人福祉施設の概要について 予習：生活支援技術の振り返り
	28	事前学習 介護実習Ｉ、Ⅱの関連性再確認 生活支援技術の再確認 学習課題　復習：自分のウイークポイントの援助技術見直し 予習：実習マニュアルを活用し実習の目的、目標再確認
	29	事後学習 介護実習Ｉの振り返り 実習の振り返りと自己評価

	学習課題　復習：マニュアル実習内容の確認 予習：実習の振り返り、自己評価、記録物の確認 30　事前学習 介護実習Ⅱの振り返り 実習の振り返りと自己評価 学習課題　復習：実習マニュアルの確認 予習：実習の振り返り、自己評価、記録物の確認
授業形態	授業・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①介護総合演習Ⅰの意義・目的・目標を理解する ②実習先、その他福祉施設の特徴や役割を知り、学ぶ視点を身につける ③実習前後の学習により、自ら目標や課題を見つけ出し、次の実習に取り組むことができる ④学内で学んだ知識・技術を統合し、根拠に基づいた介護実践を行うことができる ⑤介護実習の経験を通して、自己の介護観を明らかにできる 定期試験（70%）、講義、演習に対する取り組み（20%）、振り返りレポート（10%）を総合して評価を行う
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座第3版　10　介護総合演習・介護実習」中央法規出版. テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業・実習前後で対応します。
備考・メッセージ	授業の到達目標を理解していてください。

講義科目名称：介護総合演習Ⅱ　　授業コード：11041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	２単位	必修
担当教員			
北村　光子			

講義概要	実習体験を通しての振り返りを、次の実習・実践につなげられるように、目的・目標を常に明確化する。また、他科目の進行状況や内容ともに関連付けながら、授業、実習、の総まとめとして捉え、基礎力、実践力、応用力を身につける。
授業計画	1　介護総合演習Ⅱの意義と目的 介護実習Ⅰの振り返り（レポート作成） 介護実習Ⅱについて 長期実習施設の再確認 学習課題　復習：介護実習Ⅰ、Ⅱについて 予習：介護実習Ⅰ・Ⅱ（介護老人保健施設・介護老人福祉施設）の振り返りレポート作成 2　介護実習での学び 介護実習Ⅰの振り返り（事後学習） 長期実習先希望確認 学習課題　復習：介護実習Ⅱについて 予習：テキストｐ36～45まで読む 3　介護実習での学び 実習前後の学びの活かし方 介護実習Ⅰでの振り返りをも基にデスカッション 学習課題　復習：クラスメートの学びと比較し介護福祉士としてのあり方を考える 予習：テキストｐ200～211まで読む 4　介護総合演習Ⅱの意義と目的 介護実習Ⅱのねらい 介護実習マニュアル 学習課題　復習：テキスト、ノートを見て学びを深める 予習：実習生個人票の作成 5　長期実習事前学習 介護実習Ⅱに関する記録物の確認 演習6－1 学習課題　復習：実習マニュアルの再確認 予習：長期実習先内容確認 6　長期実習事前学習 介護実習に関する記録物の確認 演習6－2 学習課題　復習：実習マニュアルの再確認 予習：生活支援技術の振り返り 7　長期実習事前学習 ケースレポートについて 介護過程演習の経過報告を行い、生活支援技術の振り返りを行う 学習課題　復習：生活支援技術の振り返り 予習：生活支援技術の振り返り 8　実習中の振り返り（帰校日） 実習の経過報告 アセスメント及び個別援助計画の進捗状況確認 学習課題　復習：介護過程の展開振り返り 予習：介護過程（個別援助計画）の振り返り 9　実習中の振り返り（帰校日） 実習の経過報告 アセスメント及び個別援助計画の進捗状況確認 学習課題　復習：介護過程の展開振り返り 予習：介護過程（個別援助計画）の振り返り 10　実習中の振り返り（帰校日） 実習の経過報告 実施及び評価の進捗状況確認 学習課題　復習：介護過程の展開振り返り 予習：生活支援技術の再確認 11　実習中の振り返り（帰校日） 実習の経過報告 実施及び評価の進捗状況確認 学習課題　復習：介護過程の展開振り返り 予習：生活支援技術の再確認・長期実習Ⅱでの振り返りレポート作成 12　事後学習 介護実習Ⅱ（長期実習）を振り返る 介護過程展開の振り返り（ｐ223～225） 学習課題　復習：長期実習にあたり自分自身の行動を振り返る 予習：昨年度のケースレポート集を閲覧する

	13	ケースレポート作成（事例報告集） ケースレポートの書き方再確認 ケースレポートの提出手順、印刷、評価方法、発表会運営 ケースレポートの作成を行う 学習課題　復習：ケースレポート（事例報告集）作成 予習：ケースレポート（事例報告集）作成
	14	ケースレポート作成（事例報告集） ケースレポートの書き方再確認 ケースレポートの提出手順、印刷、評価方法、発表会運営 ケースレポートの発表方法 ケースレポートの作成を行う 学習課題　復習：ケースレポート（事例報告集）作成 予習：ケースレポート（事例報告集）作成事例報告書作成
	15	ケースレポート（事例報告集）制本 ケースレポート（事例報告集）制本 発表原稿作成 学習課題　復習：発表原稿作成 予習：発表原稿作成・長期実習先への配布
	16	ケースレポート（事例報告集）発表練習 カルチャーホールにて発表練習 学習課題　復習：発表練習 予習：発表練習
	17	ケースレポート発表会事前指導 カルチャーホールにて発表練習 学習課題　復習：発表練習 予習：発表練習
	18	ケースレポート発表会事前指導 カルチャーホールにて発表練習 学習課題　復習：発表練習 予習：発表練習
	19	ケースレポート発表会 実習指導者、学生、保護者、教員同席により「ケースレポート（事例報告）」報告会
	20	ケースレポート発表会 実習指導者、学生、保護者、教員同席により「ケースレポート（事例報告）」報告会
	21	ケースレポート（事例報告）発表会の振り返り ケースレポート発表会の振り返り、講評 学習課題　復習：ケースレポート発表会の振り返り用紙記入 予習：演習6－7
	22	ケースレポート（事例報告）発表会の振り返り ケースレポート（事例報告）発表会の振り返り、講評 演習6－7 学習課題　復習：発表会の意義について考える 予習：テキストｐ230～231を読む
	23	総合的な演習の展開 総合的な演習の意義・目的 資格取得時の到達目標 学習課題　復習：テキスト・ノートを見て学びを深める 予習：演習7－1
	24	総合的な演習の展開 演習7－1 学習課題　復習：ラベル貼り 予習：ＫＪ法によりまとめ
	25	総合的な演習の展開 演習7－1 学習課題　復習：ＫＪ法によりまとめ 予習：演習7－1（2・3）
	26	総合的な演習の展開 演習7－1　3の発表 学習課題　復習：他グープの発表と自分たちの発表の比較 予習：演習7－2
	27	総合的な演習の展開 実習を通して「介護福祉士観」「職業観」について考える 演習7－2 学習課題　復習：演習7－2（1） 予習：演習7－2（2）
	28	総合的な演習の展開 実習を通して「介護福祉士観」「職業観」について考える 演習7－2 学習課題　復習：演習7－2（2） 予習：演習7－2（3）
	29	介護総合演習のまとめ 実習を通して「介護福祉士観」「職業観」について考える 演習7－2 学習課題　復習：演習7－2（3） 予習：「介護観」レポート作成
	30	介護総合演習のまとめ

	介護観の発表 学習課題　復習：就職施設の概要確認と今後の決意
授業形態	授業・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①これまで学んできた知識と習得した技術の再確認を行い、基礎的な援助の基に根拠を持って実践を行うことができる ②領域「介護過程」「介護実習」を中心に、他科目との連携を意識し、統合して考えることができる ③的確な記録・記述の方法を身につけることができる ④「実習前」「実習中」「実習後」という一連の流れの中で、自己介護観や倫理観、職業観を見つめ直すことができる ⑤個別ケアの重要性を学び、個別事例検討、実習報告会にて発表を行う 定期試験 実習前後の実習態度や提出物の内容 ・実習先の担当職員の評価 ・ケースレポート発表会での発表、実習報告書、事例検討書の内容等 により総合的に評価する。 定期試験（30%）、事例研究発表（50%）、授業の取り組み（10%）、振り返りレポート等（10%）を総合して評価を行う
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座10介護総合演習・介護実習」中央法規出版. テキスト：介護実習マニュアル
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後及び昼休み時間.
備考・メッセージ	講義概要、到達目標、評価方法、を確認の上、授業に臨んでください。

講義科目名称：介護実習Ⅰ　　授業コード：90141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	１年	６単位	必修
担当教員			
北村　光子・西村　伊知恵			

講義概要	介護現場での実習を通して、利用者ひとりひとりの生活リズムや個性を理解するという視点から、介護とは何かを学ぶ。 利用者、家族との関わりを通じたコミュニケーション、他職種連携、これまで学んだ生活支援技術を実践する基礎的能力を習得する。また、利用者の暮らしや住まいといった環境面を理解しながら、その人らしい生活を維持するための個別ケアの重要性について理解する。
授業計画	介護老人福祉施設 3日間(24時間) ≪実習目的≫ 高齢者・障害者を知る グループホーム実習 5日間（40時間） ≪実習目的≫ 認知症対応型共同生活介護の特徴や役割を知り、利用者の自立支援のための日常生活援助の方法を理解する 訪問介護実習 2日間（16時間） ≪実習目的≫ 訪問介護の特性や役割を知り、利用者の特性に応じた生活環境に対する生活支援技術の方法を理解する 障害者支援施設実習 7日間（56時間） ≪実習目的≫ 障害者施設の特徴や役割を知り、人権の尊重した個別性のある介護の方法を理解する リハビリテーション病院 4日間（32時間） ≪実習目的≫ 4日間（32時間） ≪実習目的≫ リハビリテーション病院の特徴や役割を知り、他職種と連携を図りながら患者様の自立支援に向けたICFの視点での日常生活援助方法を理解する。 介護老人保健施設 8日間(64時間) ≪実習目的≫ １．介護老人保健施設の特徴と役割を知る ２．利用者の心身状況に応じた専門職としての視点、及びチームとしての連携方法を踏まえて、生活支 援技術を的確に選択し実践できる。 ３．ＩＣＦに基づいたアセスメントができる。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①介護実習の意義目的を理解する ②人権尊重や自立支援を基本に生活ニーズに関する情報を収集し、生活支援に活かすことができる ③実習を通して、実習施設の基本理念、目標を基に利用者の生活・心身の状況に応じた生活支援技術を学ぶ ④介護に関する過程、他職種連携、地域連携を学び、介護の探究する姿勢を身につける ⑤介護職の職業倫理や姿勢・態度を学び、実践力を身につける 介護実習評価の他、実習前と実習後の取り組みも評価の対象とする。介護実習の評価は実習施設の実習指導者が評価し、その後、教員間で確認する。 実習前（10%）、実習中（70%）、実習後（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新　介護福祉士養成講座　10　介護総合演習・介護実習」中央法規出版. テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	実習前後で対応します。
備考・メッセージ	短大で習ったものを介護現場で確認すること、介護現場での課題を短大に持ち帰り再学習すること、の繰り返しを行ってください。介護実習の前後の課題を大切に取り組んでください。何事にも誠実に取り組んでくださ

	いい。

講義科目名称：介護実習Ⅱ（１年）　　授業コード：90142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	５単位	必修
担当教員			
北村　光子・西村　伊知恵			

講義概要	介護実習Ｉで得た知識・技術をもとに利用者の状況に応じた生活支援技術について実践を行う。 介護現場での実習を通して、利用者の生活全体を把握した上で利用者一人を担当し、アセスメントからモニタリングまで介護過程の実践を通して、個別介護の重要性を理解する
授業計画	介護老人福祉施設実習 7日間（56時間） ≪実習目的≫ １．介護老人福祉施設の特徴や役割を知る ２．利用者の生活ニーズを捉え、生活支援のあり方を考え実践する ３．ＩＣＦに基づいたアセスメントができる
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①観察、コミュニケーション、記録類を通じて得た情報から優先度を考え、生活課題を明確にできる ②利用者、家族、他職種とのチームアプローチの必要性を理解し、介護計画の立案を行うことができる ③介護過程を展開する中で、専門的・計画的な介護サービスを提供する能力を身につける ④利用者の安全性、快適さ、自立に配慮した介護が実践できる ⑤介護目標が達成できたか、援助内容が適切であったか、計画を修正する必要があったか評価する力を身につける 介護実習の評価は、実習施設の実習指導者が評価し、その後、教員間で確認する。 実習前（10%）、実習中（80%）、実習後（10%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新　介護福祉士養成講座　10　介護総合演習・介護実習」中央法規出版 テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	実習前後いつでも対応します。
備考・メッセージ	実習前後の取り組みを大切にしてください。特に、報告・連絡・相談、を大切にしてください。誰に対しても誠実に接してください。

講義科目名称：介護実習Ⅱ（２年）　　授業コード：90143

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	５単位	必修
担当教員			
北村　光子・西村　伊知恵			

講義概要	介護実習Ⅰで得た知識・技術をもとに利用者の状況に応じた生活支援技術について実践を行う。 介護現場での実習を通して、利用者の生活全体を把握した上で利用者一人を担当し、アセスメントからモニタリングまで介護過程の実践を通して、個別介護の重要性を理解する
授業計画	長期実習（施設実習） 23日間（184時間） ≪実習目的≫ 利用者を総合的に捉え、個別性を踏まえた介護過程を展開することができる。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①観察、コミュニケーション、記録類を通じて得た情報から優先度を考え、生活課題を明確にできる ②利用者、家族、他職種とのチームアプローチの必要性を理解し、介護計画の立案を行うことができる ③介護過程を展開する中で、専門的・計画的な介護サービスを提供する能力を身につける ④利用者の安全性、快適さ、自立に配慮した介護が実践できる ⑤介護目標が達成できたか、援助内容が適切であったか、計画を修正する必要があったか評価する力を身につける 介護実習の評価は、実習施設の実習指導者が評価し、その後、教員間で確認する。 実習前（10%）、実習中（80%）、実習後（10%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新　介護福祉士養成講座　10　介護総合演習・介護実習」中央法規出版 テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	実習の前後で対応します。
備考・メッセージ	実習前後の取り組みを大切にしてください。特に、報告・連絡・相談、を大切にしてください。誰に対しても誠実に接してください。

講義科目名称：発達と老化の理解Ⅰ　　授業コード：33141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	講義
担当教員			
西村　伊知恵・座間味　愛理			

講義概要	人間の成長・発達の観点から老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化及びその影響について基礎的な知識を習得する。発達心理学の視点から、老化による身体的変化と社会的変化が高齢者の心理に及ぼす影響について理解する。
授業計画	１　オリエンテーション・人間の成長と発達① 学習課題　復習：シラバスと教科書に目を通す、教科書２～９ページ、発達区分を理解し生涯発達をイメージする 予習：次週範囲・資料の熟読、分からない用語の下調べ ２　人間の成長と発達② 学習課題　復習：教科書８～２１ページ、発達課題と個人差の理解 予習：次週範囲・資料の熟読、分からない用語の下調べ ３　老年期の発達と成熟 教科書２２～４１ページ、老年期の発達課題の留意点 予習：次週範囲・資料の熟読、分からない用語の下調べ ４　老化に伴うこころの変化と日常生活① 教科書４２～６０ページ、老化が及ぼす心理的影響、QOL 予習：次週範囲・資料の熟読、分からない用語の下調べ ５　老化に伴うこころの変化と日常生活② 教科書６１～７６ページ、高齢者のこころの問題と精神障害、３章までのまとめ 予習：教科書ｐ９４～９６　老化に伴うからだの変化と日常生活 ６　老化に伴うからだの変化と日常生活 外見上の変化と日常生活への影響(姿勢・皮膚・毛髪・爪の変化) 学習課題　復習：教科書ｐ９４－９６　外見上の変化と日常生活への影響 予習：教科書ｐ９７－１００　免疫系、免疫低下とがん ７　免疫機能の変化と日常生活への影響 免疫系、免疫機能低下とがん 学習課題　復習：教科書ｐ９７－１００　免疫機能の変化とがん 予習：教科書ｐ１００－１０６　感覚機能の変化 ８　感覚機能の変化と日常生活への影響 視覚、聴覚、嗅覚、味覚、平衡機能の変化、皮膚、感覚機能の変化 学習課題　復習：教科書ｐ１００－１０６　感覚機能の変化 予習：教科書ｐ１０６－１１０　咀嚼・消化機能の変化 ９　咀嚼・消化機能の変化と日常生活への影響 口腔内、咀嚼、嚥下、消化・吸収機能の変化 学習課題　復習：教科書ｐ１０６－１１０　咀嚼・消化機能の変化 予習：教科書ｐ１１１－１１３　循環器機能の変化 １０　循環器機能の変化と日常生活への影響 血液、血管壁、血圧の変化、血液を送るしくみ 学習課題　復習：教科書ｐ１１１－１１３　循環器機能の変化 予習：教科書ｐ１１４－１１５　呼吸器機能の変化 １１　呼吸器機能の変化と日常生活への影響 ガス交換機能の低下、呼吸器に関するその他の変化 学習課題　復習：教科書ｐ１１４－１１５　呼吸器機能の変化 予習：教科書ｐ１１５－１１８　筋、骨、関節機能の変化 １２　筋、骨、関節機能の変化と日常生活への影響 筋肉、骨、運動中枢神経、関節の変化 学習課題　復習：教科書１１５－１１８　筋、骨、関節機能の変化 予習：教科書ｐ１１８－１２１　泌尿器・生殖機能の変化 １３　泌尿器・生殖機能の変化と日常生活への影響 泌尿器の変化、生殖機能の変化 学習課題　復習：教科書ｐ１１８－１２１　泌尿器、生殖機能の変化 予習：教科書ｐ１２１－１２３　体温維持機能の変化 １４　体温維持機能の変化と日常生活への影響 熱の産生と放散、高齢期の体温 学習課題　復習：教科書ｐ１２１－１２３　体温機能の変化 予習：教科書ｐ１２９－１３４　知的機能の変化 １５　知的機能の変化と日常生活への影響 記憶機能、認知機能の変化 学習課題　復習：教科書ｐ１２９－１３４　知的機能の変化 予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①人間の成長と発達の基礎的理解ができる ②老年期の発達課題について理解できる ③老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得できる

	④高齢者の身体機能の変化が理解できる ⑤老化に伴う身体機能の変化が日常生活へ与える影響について理解できる グループワークによる演習、レポート提出により評価する。 筆記試験（８０％）、演習及びレポート内容（２０％）などで総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座１１『発達と老化の理解』中央法規出版.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：発達と老化の理解Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	講義
担当教員			
西村　伊知恵			
１年次	介護福祉専攻	週２時間	

講義概要	老化に伴う心身の変化や高齢者をとりまく周囲の環境、日常生活に及ぼす影響等について高齢者の気持ちを深く理解する。さらに、高齢者に多い疾病や老化に伴う機能低下が及ぼす影響などを理解し生活支援技術の根拠となる知識の習得を図る。
授業計画	１　高齢者の症状・疾患の特徴 高齢期の健康、高齢者医療と介護の「巨人」、慢性、複数の疾患、非定型的な症状、廃用症候群、社会・家族環境の影響 学習課題　復習：教科書ｐ１４０－１４５　高齢者の症状・疾患の特徴 予習：教科書ｐ１４０－１４５　高齢者の症状・疾患の特徴 ２　高齢者の症状・疾患の特徴 高齢期の健康、高齢者医療と介護の「巨人」、慢性、複数の疾患、非定型的な症状、廃用症候群、社会・家族環境の影響 学習課題　復習：教科書ｐ１４０－１４５　高齢者の症状・疾患の特徴 予習：教科書ｐ１４７－１６４　高齢者に多い症状・訴えとその留意点 ３　高齢者に多い症状・訴えとその留意点 痛み、浮腫、誤嚥、熱中症等 学習課題　復習：教科書ｐ１４７－１６４　高齢者の症状・疾患の特徴 予習：教科書ｐ１４７－１６４　高齢者の症状・疾患の特徴 ４　高齢期に多い症状・訴えとその留意点 痛み、浮腫、誤嚥、熱中症等 学習課題　復習：教科書ｐ１４７－１６４　高齢者の症状・疾患の特徴 予習：教科書ｐ１６７－１７５　生活習慣病 ５　生活習慣病 脳血管疾患、がん、心疾患 学習課題　復習：教科書ｐ１６７－１７５　生活習慣病 予習：教科書ｐ１６７－１７５　生活習慣病 ６　生活習慣病 脳血管疾患、がん、心疾患 学習課題　復習：教科書ｐ１６７－１７５　生活習慣病 予習：教科書ｐ１６７－１７５　生活習慣病 ７　生活習慣病 脳血管疾患、がん、心疾患 学習課題　復習：教科書ｐ１６７－１７５　生活習慣病 予習：教科書ｐ１７５－１８５　その他の生活習慣病 ８　その他の生活習慣病 高血圧、糖尿病、脂質異常症、通風 学習課題　復習：教科書ｐ１７５－１８５　その他の生活習慣病 予習：教科書ｐ１７５－１８５　その他の生活習慣病 ９　その他の生活習慣病 高血圧、糖尿病、脂質異常症、通風 学習課題　復習：教科書ｐ１７５－１８５　その他の生活習慣病 予習：教科書ｐ１９０－２０２　骨・関節系の病気 １０　骨・関節系の病気 骨粗鬆症、変形性膝関節症、変形性脊椎症、関節リウマチ 学習課題　復習：教科書ｐ１９０－２０２　骨・関節系の病気 予習：教科書ｐ１９０－２０２　骨・関節系の病気 １１　骨・関節系の病気 骨粗鬆症、変形性膝関節症、変形性脊椎症、関節リウマチ 学習課題　復習：教科書ｐ１９０－２０２　骨・関節系の病気 予習：教科書ｐ１９０－２０２　骨・関節系の病気 １２　骨・関節系の病気 骨粗鬆症、変形性膝関節症、変形性脊椎症、関節リウマチ 学習課題　復習：教科書ｐ１９０－２０２　骨・関節系の病気 予習：教科書ｐ２４６－２５０　脳・神経系の病気 １３　脳・神経系の病気 パーキンソン病、クロイツフェルト・ヤコブ病 学習課題　復習：教科書ｐ２４６－２５０　脳・神経系の病気 予習：教科書ｐ２５９－２６３　感染症 １４　高齢者に起こりやすい感染症 特徴、感染対策、生活の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ２５９－２６３　感染症 予習：教科書ｐ２６７－２７６　保健医療職との連携 １５　保健医療職との連携 チームケアの必要性、連携のポイント 学習課題　復習：教科書ｐ２６７－２７６　保健医療職との連携

	予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①人間の基本的な発達について理解できる ②老化という身体的・社会的変化が高齢者の心理に与える影響について理解できる ③老化のプロセスにおいて、人がその人らしく生きるために必要な支援について考察できる ④高齢者の疾病と生活上の留意点について理解できる ⑤医療職との連携の必要性について理解できる
科目（教職課程用）	筆記試験（８０％）、演習・レポート内容（２０％）などで総合的に評価する。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	グループワークによる演習、レポート提出により評価する。
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座１１『発達と老化の理解』中央法規出版.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：認知症の理解Ａ　　授業コード：43141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
西村　伊知恵			

講義概要	認知症を取り巻く歴史的背景や施策、認知症の人の現状を理解する。また、認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響を理解し、個々にあった的確なケアができるための知識を習得する。
授業計画	１　認知症を取り巻く状況（１） 認知症とは何か、認知症ケアの歴史 テキストｐ２～１５ ２　認知症を取り巻く状況（２） 認知症ケアの理念と視点 テキストｐ１５～２２ ３　認知症の人の医学・行動・心理的理解 認知症のさまざまな症状、中核症状 テキストｐ２４～ ４　認知症の人の医学・行動・心理的理解 中核症状と周辺症状 テキストｐ２４～ ５　認知症の人の医学・行動・心理的理解 ＢＰＳＤ、意識障害、本人の体験 テキストｐ３６～４３ ６　脳のしくみ（１） 老化、脳機能と認知症、記憶低下 テキストｐ４４～５７ ７　脳のしくみ（２） 認知症に類似した症状 テキストｐ４４～５７ ８　認知症の原因疾患 アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など テキストｐ５８～６８ ９　認知症の原因疾患 アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など テキストｐ５８～６８ １０　認知症の原因疾患 アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など テキストｐ５８～６８ １１　認知症の診断と治療 診断の過程、認知症の原因疾患の診断 テキストｐ６９～８３ １２　認知症の診断と治療 認知症の重症度の評価、認知症の治療 テキストｐ６９～８３ １３　認知症の予防 危険因子、予防の対策 テキストｐ８４～８９ １４　認知症の人の心理的理解 人の理解と介護 テキストｐ９０～９８ １５　認知症の人の心理的理解 認知症の人の心理を考える、理解の方法を考える テキストｐ９２～１０３
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①認知症の人がおかれてきた歴史を理解する ②認知症の人がおかれている現状について理解する ③老化のしくみと認知症の人の脳の状態を理解する ④認知症の人に対する医学的理解を深める ⑤認知症の人に対する心理的理解を深める
科目（教職課程用）	授業態度（授業内の質問に答えられるか、ワークに積極的に参加しているかetc）と定期試験を総合的に判断する。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	授業態度（２０％）、レポート等（１０％）定期試験（７０％）
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新　介護福祉士養成講座　１２『認知症の理解』第３版」　中央法規出版

	参考書：適時配布を配布する
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	認知症に関する新聞記事やテレビ番組などに関心をもち、授業内容と関連づけができるようにしてください。

講義科目名称：認知症の理解Ｂ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
西村　伊知恵			

講義概要	認知症を取り巻く歴史的背景や施設、認知症者の現状を把握し、認知症の主症状が要因となっての機能変化、日常生活への影響について理解する。また、利用者に対し的確なケアを提供するための知識、家族へのサポート体制について理解する。
授業計画	１　認知症の人の理解 ・認知症の人に対する基礎知識の確認 ２　認知症の人の体験を理解する ・本人本位、認知症の人が感じていること、認知症の人の視点で介護を見直す ３　環境の力 ・パーソンセンタードケア、生活 ４　生活を続ける ・認知症になっても、リロケーションダメージ ５　若年性認知症の人の生活の理解と支援 ・若年性認知症の人を理解する ６　認知症の人に対する介護Ⅰ ・かかわりの基本（１） ７　認知症の人に対する介護Ⅱ ・かかわりの基本（２） ８　認知症の人への気づき ・おかしいなと思ったら ９　家族の力を活かすⅠ 家族へのケア（１） ～認知症の人と家族の会～ １０　家族の力を活かすⅡ 家族へのケア（２） ～認知症の人と家族の会～ １１　認知症の人に対する介護Ⅲ ・認知症の人の介護過程 １２　認知症の人に対する介護Ⅳ ・進行に応じた介護 １３　地域の力を活かす ・地域の連携、チームアプローチ １４　認知症に関する制度・関係機関などⅠ ・介護保険制度 １５　認知症に関する制度・関係機関などⅡ ・その他の施策、まとめ
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①認知症の症状を理解し、そうした症状がもたらす心理的影響について理解する。 ②認知症高齢者の心理を理解する。 ③認知症症状を示す人への対応や関わり方を、理論に基づき考察できる。 ④認知症の方の家族の方との協力体制や、地域サポート体制について学び、援助方法を理解する。 ⑤認知症の方の社会環境や生活環境について理解する。
科目（教職課程用）	①定期試験、②授業態度、演習への取り組み、③小テスト・レポート、で評価する
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	定期試験（７０％）、授業への取り組み（２０％）、小テスト・レポート（１０％）で評価する
教科書・参考書	・テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新・介護福祉士養成講座　１２　『認知症の理解』第３版」中央法規出版.　その他、配布資料.
履修条件	
履修上の注意	「認知症の理解Ａ」をふまえて受講すること。
オフィスアワー	授業前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】次回の授業の範囲を予習し、事例に基づいて考えておくこと。「もし自分自身が認知症になってしまったら、どうして欲しいか？」を考えて課題に臨むこと。

講義科目名称：障害の理解Ⅰ　　授業コード：14141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	講義
担当教員			
西村　伊知恵　・　沖田　康司			

講義概要	精神、知的・発達障害、難病などの症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解した上で、障害のある人やその介護者を含めた生活支援を行うための根拠となる知識を習得する。また、障害のある人の特性をふまえたアセスメントと自立に向けた支援を行うために必要な、地域におけるサポート体制や多職種協働のあり方、家族への支援についても学習する。
授業計画	１　障害の基礎的理解 障害の概念、障害とは何か、障害者の法的定義など 学習課題　復習：教科書ｐ　２－２３ 予習：教科書ｐ２４－４５　障害者福祉の基本理念 ２　障害者福祉の基本理念 障害者福祉の基本理念 学習課題　復習：教科書ｐ２４－４５　障害者福祉の基本理念 予習：教科書ｐ４８－５９　視覚障害のある人の生活 ３　障害のある人の生活の理解Ⅰ 視覚障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ４８－５９ 予習：教科書ｐ６０－６９　聴覚・言語障害のある人の生活 ４　障害のある人の生活の理解Ⅰ 聴覚・言語障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ６０－６９ 予習：教科書ｐ７０－８０　重複障害のある人の生活 ５　障害のある人の生活の理解Ⅰ 重複障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ７０－　８０ 予習：教科書ｐ８２－１００　肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活 ６　障害のある人の生活の理解Ⅱ 肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ　８２－ｐ１００ 予習：教科書ｐ１０１－ｐ１１０　知的障害のある人の生活 ７　障害のある人の生活の理解Ⅱ 知的障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ１０１－１１０ 予習：教科書ｐ１１１－１２４　精神障害のある人の生活 ８　障害のある人の生活の理解Ⅱ 精神障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ１１１－１２４ 予習：教科書ｐ１１１－１２４ ９　障害のある人の生活の理解Ⅱ 精神障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ１１１－１２４ 予習：教科書ｐ１３４－１４４　発達障害のある人の生活 １０　障害のある人の生活の理解Ⅱ 発達障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ１３４－１４４ 予習：教科書ｐ１３４－１４４ １１　障害のある人の生活の理解Ⅱ 発達障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ１３４－１４４ 予習：教科書ｐ１２５－１３３　高次脳機能障害のある人の生活 １２　障害のある人の生活の理解Ⅱ 高次脳機能障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ１２５－１３３ 予習：教科書ｐ１２５－１３３ １３　障害のある人の生活の理解Ⅱ 高次脳機能障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ１２５－１３３ 予習：教科書ｐ１４５－１５３　重症心身障害のある人の生活 １４　障害のある人の生活の理解Ⅱ 重症心身障害のある人の生活 学習課題　復習：教科書ｐ１４５－１５３ 予習：教科書ｐ　２－　４５ １５　まとめ 生涯のある人の生活の理解、医療職との連携、介護上の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ２－　４５

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①「その人らしい生活」が実現できるために必要な、ICFの概念理解と生活に焦点を当てた介護のあり方について思考できる知識及びアセスメント能力が習得できる。 ②障害の知識及び具体的な症状とその背景や原因を知り、自立に向けてどのような介護が望まれているのかについて学ぶ。 ④障害者の日常生活における影響を考慮し、残存能力・潜在能力の活用などを含め、生活支援技術と関連できる。 ⑤障害の種類や特性に応じた介護上の留意点を踏まえ、医療職との連携の必要性について学ぶ。 グループワークによる演習、ディスカッション、レポート提出により評価する。 筆記試験（８０％）、演習及びレポート内容（２０％）などで総合的に評価する
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座１３『障害の理解』」　中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座８『生活支援技術Ⅲ』」中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：障害の理解Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
西村　伊知恵			

講義概要	①障害の種別ごとの医学的、心理的側面をふまえた生活について理解する ②障害の知識及び具体的な症状とその背景や原因を知り、自立に向けた介護の重要性がわかる ③医療職との連携のあり方について理解する ④障害のある人に対する介護の基本的視点及び家族への支援について理解する。 ⑤地域におけるサポート体制の確立のための連携と協働の重要性について理解する。
授業計画	１　内部障害のある人の生活 心臓機能障害のある人の生活 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－１６２ 予習：　ｐ１５６－１６２ ２　内部障害のある人の生活 心臓臓機能障害のある人の生活 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－１６２ 予習：　ｐ１６２－１７０ ３　内部障害のある人の生活 腎臓機能障害のある人の生活 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ１６２－１７０ 予習：　ｐ１７１－１７７ ４　内部障害のある人の生活 呼吸機能障害のある人の生活 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ１７１－１７７ 予習：　ｐ１７７－１８６ ５　内部障害のある人の生活 膀胱・直腸機能障害のある人の生活 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ１７７－１８６ 予習：　ｐ１８６－１９２ ６　内部障害のある人の生活 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある人の生活 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ１８６－１９２ 予習：　ｐ１９３－１９８ ７　内部障害のある人の生活 肝臓機能障害のある人の生活 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点 学習課題　復習：教科書ｐ１９３－１９８ 予習：　ｐ２０２－２１２ ８　難病のある人の生活 難病とは何か、疾患の特徴、進行段階期による支援の課題、心理的状況とその援助 医療との連携 生活障害 介護上の留意点 ９　障害のある人に対する介護 障害のある人に対する介護上の基本的視点 自己決定、エンパワメント、権利擁護 １０　障害のある人に対する介護 基本的視点に基づいた個別支援 １１　障害のある人に対する介護 社会資源の利用と開発 １２　家族への支援 家族への支援とは何か 家族支援の視点、障害の受容、レスパイトサービス他 １３　家族への支援 家族の状態の把握と介護負担の軽減 １４　連携と協働 保健・医療・福祉・教育・労働サービスの連携（チームアプローチ） １５　地域におけるサポート体制 行政、関係機関、「協議会」との連携 インフォーマル支援ネットワーク

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①医学的側面からの基本的知識として身体障害などについて理解できる ②障害の症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解できる ③障害の日常生活に及ぼす影響を理解し、生活支援を行う根拠となる知識を習得する ④社会資源の利用と活用について理解できる ⑤医療職との連携が理解できる ⑥地域におけるサポート体制の確立のための連携と協働の重要性について理解できる。 授業態度（２０％）、演習の参加度・レポート（１０％）、定期試験（７０％）で総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新　介護福祉士養成講座　１３『障害の理解』第４版」　　中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	介護の実践の際、根拠となるものをすぐに思い出せるように学習しましょう。

講義科目名称：こころとからだA　　授業コード：31141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	講義
担当教員			
西村　伊知恵			

講義概要	こころとからだの密接なつながりに着目し、介護の根拠となるこころとからだについての基礎的な知識を理解する。
授業計画	１　スタートアップセッション 科目オリエンテーション、 健康とは何か ２　こころとは何か こころとは何か、認識とは何か ３　こころのしくみ 作文『こうじ　お話ししようね』を読む ４　脳のしくみ 脳の構造について ５　脳のしくみ 脳の構造、神経との関係、脳の機能について ６　こころのしくみ（学習・記憶・思考のしくみ①） 学習とは何か ７　こころのしくみ（学習・記憶・思考のしくみ②） 記憶とは何か、思考とは何か ８　こころのしくみ（感情のしくみ） 感情と行動について ９　認知のしくみ① 視覚認知について １０　認知のしくみ② 感覚と知覚について １１　認知のしくみ③ 高齢者の認知について １２　こころの構造① パーソナリティー、適応と不適応 １３　こころの構造② ストレスの構造 １４　こころの構造③ ストレス関連の障がいについて　等 １５　社会性を引き出すこころ 発達理論　等
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①こころとからだの相互作用について理解できる。 ②脳機能と関連する障がいについて理解できる。 ③認知機能の基本を理解できる。 ④こころの構造について理解できる。 ⑤こころとからだの関係を理解することで、援助者として必要な対応を考えることができる。 授業態度、課題への取り組み、小テスト・レポート、定期試験、を総合して評価を行う。 授業態度（20%）、小テスト・レポート（10%）、定期試験（70%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：適時資料を配布する. 参考書：介護福祉士養成講座編集委員会　新介護福祉士養成講座14　第3版『こころとからだのしくみ』中央法規出版,『第1章こころのしくみを理解する』.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。

備考・メッセージ	

講義科目名称：こころとからだＢ　　授業コード：51141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	講義
担当教員			
西村　伊知恵			

講義概要	人体の健康状態を医学的な観点から理解する。その上で利用者の健康状態を判断する基準や利用者の生活の困難さを測る基準となる知識を学ぶ。
授業計画	１　こころのしくみの理解 人の基本的・社会的・自己実現の欲求の種類と内容の理解 学習課題　復習：教科書ｐ１０－１９　こころのしくみの理解 予習：教科書ｐ３９－４１　脳・神経の理解 ２　からだのしくみの理解 脳・神経の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ３９－４１　脳・神経の理解 予習：教科書ｐ３９－４１　脳・神経の理解 ３　からだのしくみの理解 脳・神経の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ３９－４１　脳・神経の理解 予習：教科書ｐ４２－ｐ４３、ｐ６３－７２　骨・筋肉の理解 ４　からだのしくみの理解 骨・筋肉の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ４２－ｐ４３、ｐ６３－７２　骨・筋肉の理解 予習：教科書ｐ４２－ｐ４３、ｐ６３－７２　骨・筋肉の理解 ５　からだのしくみの理解 骨、筋肉の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ４２－ｐ４３、ｐ６３－７２　骨・筋肉の理解 予習：教科書ｐ４６－４７　呼吸器の理解 ６　からだのしくみの理解 呼吸器の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ４６－４７　呼吸器の理解 予習：教科書ｐ４６－４７　呼吸器の理解 ７　からだのしくみの理解 呼吸器の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ４６－４７　呼吸器の理解 予習：教科書ｐ４９－５０　泌尿器の理解 ８　からだのしくみの理解 泌尿器の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ４９－５０　泌尿器の理解 予習：教科書ｐ４９－５０　泌尿器の理解 ９　からだのしくみの理解 泌尿器の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ４９－５０　泌尿器の理解 予習：教科書ｐ５６－６０　循環器の理解 １０　からだのしくみの理解 循環器の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ５６－６０　循環器の理解 予習：教科書ｐ５６－６０　循環器の理解 １１　からだのしくみの理解 循環器の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ５６－６０　循環器の理解 予習：教科書ｐ７８－７９　目の理解 １２　身支度に関連したこころとからだのしくみ 目の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ７８－７９　目の理解 予習：教科書ｐ７８－７９　目の理解 １３　身支度に関連したこころとからだのしくみ 目の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ７８－７９　目の理解 予習：教科書ｐ８２－８６　口腔の理解 １４　身支度に関連したこころとからだのしくみ 口腔の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ８２－８６　口腔の理解 予習：教科書ｐ８２－８６　口腔の理解 １５　身支度に関連したこころとからだのしくみ 口腔の構造、機能の理解 学習課題　復習：教科書ｐ８２－８６　口腔の理解

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①生活支援のために必要とされる、基本的な人体構造や機能について理解できる ②利用者の日常生活の変調を観察する視点を理解できる ③日常生活の変調について医学的根拠を踏まえた生活支援技術の応用性が理解できる ④外界からの刺激と調和について理解できる ⑤障害や病気が弊害とならない、利用者が望む生活環境で「活動」「参加」の継続が得られる生活支援技術が理解できる
科目（教職課程用）	筆記試験で評価する
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	筆記試験(100%)
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座１４『こころとからだのしくみ』」中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：こころとからだC　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	講義
担当教員			
西村　伊知恵			
１年次	介護福祉専攻	週２時間	

講義概要	こころとからだは相互に影響しあい、意欲や行動などに影響を及ぼすことを理解し、身体機能の低下や障害により、入浴や食事、排泄などの生活行動がどのような影響を受けるのかを学ぶ。また、具体的な援助のための根拠となる知識を習得する
授業計画	１　食事に関連したこころとからだのしくみ 人間に不可欠な栄養素と働き 学習課題　復習：教科書ｐ１３４－１３８　食事に関連したしくみ 予習：教科書ｐ１３８－１４９　食事に関連した体のしくみ ２　食べることに関連したこころとからだののしくみ 食べることの生理的意味、食欲・おいしさを感じるしくみ 学習課題　復習：教科書ｐ１３８－１４９　食事に関連した体のしくみ 予習：教科書ｐ１３８－１４９　食事に関連した体のしくみ ３　食事に関連したからだのしくみ 口腔内、消化器の解剖と食べるしくみの理解、代償的な栄養摂取法の理解 学習課題　復習：教科書ｐ１３８－１４９　食事に関連した体のしくみ 予習：教科書ｐ１３８－１４９　食事に関連した体のしくみ ４　食事に関連したからだのしくみ 病気による機能低下 学習課題　復習：教科書ｐ１３８－１４９　食事に関連した体のしくみ 予習：教科書ｐ１５０－１６９　心身の機能低下が食事に及ぼす影響 ５　心身の機能低下が食事に及ぼす影響 加齢、病気、障害による機能低下の影響、変化の気づきと対応 学習課題　復習：教科書ｐ１５０－１６９　心身の機能低下が食事に及ぼす影響 予習：教科書ｐ１７２－１７５　入浴・清潔保持に関連したしくみ ６　入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ なぜ入浴・清潔保持を行うのか、入浴の意義、効果 学習課題　復習：教科書ｐ１７２－１７５　入浴・清潔保持に関連したしくみ 予習：教科書ｐ１７５－１８１　入浴・清潔保持に関連した体のしくみ ７　入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 皮膚、発汗のしくみ、皮膚の汚れのしくみ、陰部の清潔 学習課題　復習：教科書ｐ１７５－１８１　入浴・清潔保持に関連した体のしくみ 予習：教科書ｐ１７５－１８１　入浴・清潔保持に関連した体のしくみ ８　入浴・清潔保持に関連したこころとからだ体しくみ 皮膚、発汗のしくみ、皮膚の汚れのしくみ、陰部の清潔 学習課題　復習：教科書ｐ１７５－１８１　入浴・清潔保持に関連した体のしくみ 予習：教科書ｐ１７５－１８１　入浴・清潔保持に関連した体のしくみ ９　入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 皮膚、発汗のしくみ、皮膚の汚れのしくみ、陰部の清潔 学習課題　復習：教科書ｐ１７５－１８１　入浴・清潔保持に関連した体のしくみ 予習：教科書ｐ１８４－２０２　心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 １０　心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 精神機能、身体機能の低下、疾患がある場合 学習課題　復習：教科書ｐ１８４－２０２　心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 予習：教科書ｐ２０８－２１０　排泄に関連したしくみ １１　排泄に関連したこころとからだのしくみ なぜ排泄をするのか、排泄行為の理解 学習課題　復習：教科書ｐ２０８－２１０　排泄に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２１０－２１８　排泄に関連したからだのしくみ １２　排泄に関連したこころとからだのしくみ 排尿のしくみ、排便のしくみ、人工膀胱・人工肛門のしくみ 学習課題　復習：教科書ｐ２１０－２１８　排泄に関連したからだのしくみ 予習：教科書ｐ２１０－２１８　排泄に関連したからだのしくみ １３　排泄に関連したからだのしくみ 排尿のしくみ、排便のしくみ、人工膀胱・人工肛門のしくみ 学習課題　復習：教科書ｐ２２０－２２９　排泄に関連したからだのしくみ 予習：教科書ｐ２２０－２３７　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響、変化の気づきと対応 １４　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響、変化の気づきと対応 精神、判断力の低下、ADL低下、膀胱尿道機能低下、消化器機能低下による排泄障害、排泄での観察のポイント 学習課題　復習：教科書ｐ２２０－２３７　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響、変化の気づきと対応 予習：教科書ｐ２２０－２３７　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響、変化の気づきと対応 １５　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響、変化の気づきと対応

	精神、判断力の低下、ADL低下、膀胱尿道機能低下、消化器機能低下による排泄障害、排泄での観察のポイント 学習課題　復習：教科書ｐ２２０－２３７　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響、変化の気づきと対応
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①清潔保持の基礎的知識を理解できる ②身体機能の低下、障害が及ぼす入浴・清潔保持への影響について理解できる ③入浴の実際・入浴での事故について理解できる ④食事、排泄に関する基礎的知識について理解できる ⑤身体の機能低下、障害が及ぼす食事、排泄への影響について理解できる
科目（教職課程用）	筆記試験（８０％）、演習及びレポート内容（２０％）などで総合的に評価する
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	グループワークによる演習、ディスカッション等で評価を行う。
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座１４『こころとからだのしくみ』」中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：こころとからだD　　授業コード：21141

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	講義
担当教員			
西村　伊知恵			

講義概要	生理的欲求としての睡眠に関する基礎的知識、障害を理解し、その対応を学ぶ。終末期について学ぶ。
授業計画	１　睡眠に関連したこころとからだのしくみ なぜ睡眠をとるのか、睡眠に関連したこころのしくみ、睡眠に関連した体のしくみ 学習課題　復習：教科書ｐ２４２－２４７　睡眠に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２４２－２４７　睡眠に関連したしくみ ２　睡眠に関連したこころとからだのしくみ なぜ睡眠をとるのか、睡眠に関連したこころのしくみ、睡眠に関連した体のしくみ 学習課題　復習：教科書ｐ２４２－２４７　睡眠に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２４２－２４７　睡眠に関連したしくみ ３　睡眠に関連したこころとからだのしくみ なぜ睡眠をとるのか、睡眠に関連したこころのしくみ、睡眠に関連した体のしくみ 学習課題　復習：教科書ｐ２４２－２４７　睡眠に関連したからだのしくみ 予習：教科書ｐ２５１－２５８　心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響 ４　心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響 睡眠に影響を及ぼす心身機能の低下、睡眠障害 学習課題　復習：教科書ｐ２５１－２５８　心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響 予習：教科書ｐ２５９－２６６　変化の気づきと対応 ５　変化の気づきと対応 睡眠での観察のポイント、睡眠での医療職との連携のポイント 学習課題　復習：教科書ｐ２５９－２６６　変化の気づきと対応 予習：教科書ｐ２５９－２６６　死にゆく人に関連したしくみ ６　変化の気づきと対応 睡眠での観察のポイント 学習課題　復習：教科書ｐ２５９－２６６　変化の気づきと対応 予習：教科書ｐ２６８－２７５死にゆく人に関連したしくみ ７　死にゆく人のこころとからだのしくみ 死のとらえかた 学習課題　復習：教科書ｐ２６８－２７５　死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２６８－２７５　死にゆく人に関連したしくみ ８　死にゆく人のこころとからだのしくみ 死のとらえかた 学習課題　復習：教科書ｐ２６８－２７５　死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２７６－２８３　死にゆく人に関連したしくみ ９　死にゆく人のからだの理解 終末期から「死」までの変化と特徴 学習課題　復習：教科書ｐ２７６－２８３　死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２７６－２８３　死にゆく人に関連したしくみ １０　死にゆく人のからだの理解 終末期から「死」までの変化と特徴 学習課題　復習：教科書ｐ２７６－２８３　死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２８４－２８９　死にゆく人に関連したしくみ １１　死にゆく人のこころとからだのしくみ 「死」に対するこころの理解 学習課題　復習：教科書ｐ２８４－２８９　死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２８４－２８９　死にゆく人に関連したしくみ １２　死にゆく人に関連したしくみ 「死」に対するこころの理解 学習課題　復習：教科書ｐ２８４－２８９　死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２９０－２９７　死にゆく人に関連したしくみ １３　死にゆく人に関連したこころとからだのしくみ 医療職との連携のポイント 学習課題　復習：教科書ｐ２９０－２９７　死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２９０－２９７　死にゆく人に関連したしくみ １４　死にゆく人に関連したこころとからだのしくみ 医療職との連携のポイント 学習課題　復習：教科書ｐ２９０－２９７　死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書ｐ２４２－２９７　睡眠、死について １５　まとめ 睡眠、死について 学習課題　復習：教科書ｐ２４２－２９７　睡眠、死について 予習：
授業形態	講義

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①睡眠の基礎的知識を理解できる ②睡眠に関連した心と体のしくみについて理解できる ③死の捉え方について理解できる ④終末期のからだについて理解できる ⑤医療職との連携のあり方について理解できる
科目（教職課程用）	筆記試験（８０％）、演習及びレポート内容（２０％）などで総合的に評価する
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	グループワークによる演習、ディスカッション、レポートの提出により評価する。
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座１４『こころとからだのしくみ』」中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：医療的ケアＡ　　授業コード：13142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	講義
担当教員			
西村　伊知恵			

講義概要	医療の倫理を遵守し、チーム医療を担う一員であることを自覚して実践にあたる重要性を理解する。喀痰吸引は医行為であることを理解し、利用者に対して、医療提供上の危機管理をふまえて安全に提供できる基礎的知識、実施手順を学ぶ。
授業計画	１　なぜ医療的ケアを学ぶのか 医療的ケアとは、医療行為について 学習課題　復習：教科書ｐ２－　４　　医療的ケアとは、医行為とは、チーム医療 予習：教科書ｐ４－１１　　医療の倫理、個人の尊厳と自立 ２　医療の倫理、個人の尊厳と自立 個人の尊厳と自立 学習課題　復習：教科書ｐ　４－１１　医療の倫理、個人の尊厳と自立 予習：教科書ｐ１１－２４　喀痰吸引等制度 ３　喀痰吸引等制度 喀痰吸引等制度 学習課題　復習：教科書ｐ１１－３５　喀痰吸引等制度 予習：教科書ｐ３６－５８　安全な療養生活 ４　安全な療養生活 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 学習課題　復習：教科書ｐ３６－５８　安全な療養生活 予習：教科書ｐ３６－５８　安全な療養生活 ５　安全な療養生活 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 学習課題　復習：教科書ｐ３６－５８　安全な療養生活 予習：教科書ｐ６０－７４　感染予防と清潔保持 ６　感染予防と清潔保持 感染予防、介護職員の感染予防、療養環境の清潔、消毒法、滅菌と消毒 学習課題　復習：教科書ｐ６０－７４　感染予防と清潔保持 予習：教科書ｐ６０－７４　感染予防と清潔保持 ７　感染予防と清潔保持 感染予防、介護職員の感染予防、療養環境の清潔、消毒法、滅菌と消毒 学習課題　復習：教科書ｐ６０－７４　感染予防と清潔保持 予習：教科書ｐ７５－８５　健康状態の把握 ８　健康状態の把握 身体・精神の健康、健康状態を知る項目(バイタルサイン)、急変状態について 学習課題　復習：教科書ｐ７５－８５　健康状態の把握 予習：教科書ｐ７５－８５　健康状態の把握 ９　健康状態の把握 身体・精神の健康、健康状態を知る項目(バイタルサイン)、急変状態について 学習課題　復習：教科書ｐ７５－８５　　健康状態の把握 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １０　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １１　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １２　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引

	呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １４　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １５　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １６　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １７　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 １８　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題　復習：教科書ｐ８８－１５３　高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①医行為の法的理解、倫理について理解できる ②介護職等による高齢者および障害児・者の喀痰吸引等制度と「医療的ケア」について理解できる ③安全に喀痰吸引等を提供する重要性とその基本的内容、実施手順について理解できる ④感染予防、その他の安全への基礎知識とその方法について理解できる ⑤身体・精神の平常と急変状態、またその対応について理解できる 定期試験（１００％）で評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：【編集】介護福祉士養成講座編集委員会　新・介護福祉士養成講座　15　第３版　『医療的ケア』中央法規出版株式会社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：医療的ケアＢ　　授業コード：32142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	講義
担当教員			
井上　美代子			

講義概要	医療の倫理を遵守し、チーム医療を担う一員であることを自覚して実践にあたる重要性を理解する。経管栄養は医行為であることを理解し、利用者に対して、医療提供上の危機管理(救急蘇生含)をふまえて安全に提供できる基礎的知識、実施手順とその留意点について学ぶ。
授業計画	１　医療的ケア実施の基礎 医療的ケアとは何か、医療的ケアを行うための基本的心構えを理解 学習課題　復習：教科書ｐ２－３５　医療的ケア実施の基礎 予習：教科書ｐ２－３５　医療的ケア実施の基礎 ２　医療的ケア実施の基礎 医療的ケアとは何か、医療的ケアを行うための基本的心構えを理解 学習課題　復習：教科書ｐ２－３５　医療的ケア実施の基礎 予習：教科書ｐ３６－７４　安全な療養生活 ３　安全な療養生活 感染予防と清潔保持 学習課題　復習：教科書ｐ３６－７４安全な療養生活 予習：教科書ｐ３６－７４安全な療養生活 ４　安全な療養生活 感染予防と清潔保持 学習課題　復習：教科書ｐ３６－７４　安全な療養生活 予習：教科書ｐ３６－７４　救急蘇生 ５　救急蘇生 救急蘇生の演習を行う 学習課題　復習：教科書ｐ３６－７４救急蘇生 予習：教科書ｐ３６－７４救急蘇生 ６　救急蘇生 救急蘇生の演習を行う 学習課題　復習：教科書ｐ３６－７４救急蘇生 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 ７　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 ８　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 ９　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １０　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １１　高齢者および障害児・者の経管栄養

	消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １２　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １３　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １４　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １５　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １６　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １７　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 １８　高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関係する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ１５６－２１４高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①医行為の法的理解、倫理について理解できる ②消化器のしくみとはたらきについて理解できる。 ③高齢者および障害児・者の経管栄養概論と実施手順について理解できる ④経管栄養実施前後のケア、急変時の対応(救急蘇生演習)について医療職との連携を含め理解できる ⑤経管栄養実施後の報告と記録が理解できる 筆記試験（１００％）で評価する
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会編「新・介護福祉士養成講座15『医療的ケア』」中央法規

履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：医療的ケアＣ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	演習
担当教員			
井上　美代子　・　西村　伊知恵			
２年次	介護福祉専攻	週４時間	

講義概要	シュミレーターを使用した「喀痰吸引」「経管栄養」の演習を行う。また、各演習におけるケア実施の流れ（準備、実施、報告、記録）と留意点について学ぶ。
授業計画	１　喀痰吸引の実施の手順と留意点 喀痰吸引前の準備（指示の確認、手洗い、必要物品、環境整備等）、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２３７　必要物品の確認等 予習：教科書ｐ２１６－２３７　必要物品の確認等 ２　喀痰吸引演習 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２３７　必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録録 予習：教科書ｐ２３８－２６７　吸引前の準備～後片付け、報告及び記録までの観察を含む留意点 ３　経管栄養の実施の手順と留意点 経管栄養前の準備（指示の確認、手洗い、環境整備等）、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２３８－２６７　必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録録 予習：教科書ｐ２３８－２６７　必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録録 ４　経管栄養演習 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２３８－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２３８－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ５　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ６　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ７　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ８　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ９　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １０　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １１　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １２　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １３　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録

	１４　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １５　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １６　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １７　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １８　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 １９　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２０　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２１　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２２　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２３　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２４　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２５　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２６　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２７　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２８　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ２９　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 ３０　　実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題　復習：教科書ｐ２１６－２６７必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 予習：教科書ｐ必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録
授業形態	実習室にて演習を行う。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①喀痰吸引の必要物品が準備できる ②シュミレーターを使用した喀痰吸引のケアが実施できる ③経管栄養の必要物品が準備できる ④シュミレーターを使用した経管栄養のケアが実施できる ⑤喀痰吸引、経管栄養のケア実施の報告と記録について理解できる

	演習：喀痰吸引及び経管栄養について、各項目ごとに5回以上の回数を実施し累積成効率が70％以上、最終3回のケア実施において不成功が1回もない(連続3回成功)ことを合格基準とする。場合によっては補習を課すことがある。 演習に入る前に知識レベルをチェックする(筆記試験80％を取得すること)。 演習(50％)、筆記試験（50％）で総合的に評価する
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：【編集】介護福祉士養成講座編集委員会　新・介護福祉士養成講座　１５　第3版『医療的ケア』中央法規出版株式会社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間の前後に教室で質問を受付ける
備考・メッセージ	